

**公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団年報 2015—2016**

Annual Report: The Tokuma Memorial Cultural Foundation for Animation



公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団  
平成 27 年度事業報告  
(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

1：アニメーション文化に関する展覧会事業の企画及び運営（1号事業関係）	1
(1) 常設展示	1
(2) 企画展示	1
(3) 短編映画上映	3
(4) その他の展覧会事業	3
(5) 次年度の企画展示の準備	4
(6) 美術館開館日、入館者数等	5
(7) 三鷹市民招待日など	9
(8) 地域活動	9
2：アニメーション作品及びその資料の収集、保管及び展示並びにアニメーション文化に関する調査研究、普及啓発及び活動の奨励（2号事業関係）	10
(1) アニメーション美術館に収蔵する作品及び資料等の収集	10
(2) 保有するアニメーションに関する資料の整理・保管	10
(3) 保有する資料の展示	10
(4) アニメーション文化に関する基礎的調査	11
(5) アニメーション美術館に収蔵する作品の収集のための調査	11
(6) 「日本のアニメーション・スタジオ史」の調査研究	11
(7) アニメーション文化調査研究活動助成制度の実施	12
(8) アニメーション文化についての講演会等	13
(9) 図書閲覧室 トライホークス	14
【資料】図書閲覧室 閲覧図書一覧表	15
(10) アニメーション関連展覧会への企画協力及び展示制作協力	16
(11) アニメーション作品の普及啓発活動	17
【資料】基本財産一覧	18
3：三鷹市の公の施設に係る指定管理者の指定を受けて行なうアニメーション美術館の管理運営（3号事業関係）	25
三鷹市立アニメーション美術館の管理運営	25
4：三鷹市の委託を受けて行なうアニメーションに関する事業（4号事業関係）	26
三鷹の森アニメフェスタ 2016 への協力	26
5：展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作及び販売（5号事業関係）	27
(1) 出版物の制作販売	27
(2) アニメーション映画のライブラリー事業	28
6：その他この法人の目的を達成するために必要な事業（6号事業関係）	29
7：広報活動報告	30
【資料】広報資料媒体一覧表	32
8：平成 27 年度決算報告	36
【附録】なぜ日本では「マンガ・アニメ的なもの」が発達したのだろうか -日本文化論-	
アニメーション映画監督／財団理事 高畑勲	39



## 1：アニメーション文化に関する展覧会事業の企画及び運営（1号事業関係）

### (1) 常設展示

当美術館において昨年度同様、以下のような展示を行なった。

会期 平成27年4月1日～平成28年3月31日  
午前10時～午後6時 会期中無休（休館日を除く）

#### ◆常設展示その1「動きはじめの部屋」

会場 地下一階常設展示室

この展示室では、現在のアニメーションのもとになった様々な発明を題材にした展示物を見せている。19世紀あるいはそれ以前から、絵を動かすことや奥行きのある空間（別世界）を作ること追求してきた先人からの積み重ねは、やがてフィルムとしての映画を生んだ。そうした流れを踏まえつつ、昔の発明と現代の技術を融合させて、より楽しめる展示物を制作している。本年度は、展示物「あるくの大すき」の内部照明をLED照明に変更し、「ミニシアター」は、設置以来初めてスクリーンを交換した。また、平成28年5月からの改修工事に向けて、「上昇海流」のパイプ交換、「トトロびよんびよん」のモーター交換、ならびに一階常設展示室のイメージボード・背景画の一部貼り替えのための準備作業を進めた。

#### ◆常設展示その2「映画の生まれる<sup>ところ</sup>場所」

会場 一階常設展示室

4つの小部屋を利用した展示室では、アニメーション映画のスタジオを模した空間を設け、映画を作る現場の雰囲気が味わえるものとしている。ただし、実在のスタジオをそのまま再現するのではなく、ものづくりの楽しさが感じられるような、イメージの広がる空間をつくるべく、家具調度品から小物、絵の飾り方に至るまで工夫を施した。また、小規模で不定期ながらも展示物の改変や修繕等を行なっている。

#### ◆常設展示その3「ネコバスルーム」

会場 二階常設展示室

「となりのトトロ」のキャラクター、ネコバスを全長5.4mのぬいぐるみで作り、美術館二階の一角を、子どもたち（小学生以下）がネコバスに乗って遊べる空間として開放した。

### (2) 企画展示

#### ① 「クルミわり人形とネズミの王さま」展～メルヘンのたからもの～

会期 平成27年4月1日～平成27年5月17日  
午前10時～午後6時 会期中無休（休館日を除く）

会場 一階企画展示室

本展示で取り上げられた『クルミわりとネズミの王さま』の物語は、約200年前にドイツの作家、E.T.A.・ホフマンによって書かれた幻想小説である。この物語が持つ不思議な魅力を、宮崎監督が読み解き、自ら描き下ろしたパネルを中心に据えた展示とした。

第一室は、ねずみの軍隊とおもちゃたちの戦いのシーンをハンドルで動かす立体造形物を中心とした展示を行ない、第二室では、展示のきっかけとなった英国の挿絵画家、アリソン・ジェイ氏のイラストの展示のほか、クルミわり人形のルーツの紹介、お菓子の模型、子どもたちに実際にクルミを割ってもらうコーナー等も設置し、さまざまな視点で物語の魅力を感じてもらった。

## ② 「幽霊塔へようこそ」展～通俗文化の王道～

会期 平成 27 年 5 月 30 日～平成 28 年 3 月 31 日

午前 10 時～午後 6 時 会期中無休（休館日を除く）

会場 一階企画展示室

本展示は、宮崎監督がイギリスの作家ロバート・ウェストールの短編『赤い館の時計』を読み、自身が中学生の頃に夢中になって読んだ江戸川乱歩の長編小説『幽霊塔』を思い出したことがきっかけとなり、企画がスタートした。

『幽霊塔』の元となった物語は、英国の作家 A・M・ウィリアムスンが 1898 年に発表した小説『灰色の女』。それを翌年、黒岩涙香が翻案し新聞連載小説『幽霊塔』として発表し、後に江戸川乱歩が書き改めて、広く知られるようになった。

主人公が織りなすロマンスや物語の重要な舞台である時計塔の歯車やその機構に憧れ、想像をめぐらせた宮崎監督は、それらを劇場長編映画「ルパン三世 カリオストロの城」(’79)におけるモチーフとして結実させた。その様子や思考の過程、更には『幽霊塔』が通俗文化の王道をゆくものであると思いついた理由などを、19 枚の描き下ろしの漫画パネルで解説している。

中央ホールには、螺旋階段を覆うように建てられた高さ 12.5メートルの「時計塔」が来館者を出迎え、その内部の階段を昇り企画展示室へ向うと、第一室には、財宝が隠された地下迷宮を思わせる迷路が子どもたちを待ち受ける展示となった。

第二室では映画「ルパン三世 カリオストロの城」のジオラマを展示し、描き下ろしの漫画パネルで舞台の構造について、詳しく紹介した。



「幽霊塔へようこそ」展～通俗文化の王道～

### (3) 短編映画上映

地下一階の映像展示室で、以下の短編映画を上映した。

#### 【オリジナル短編アニメーション作品の上映】

平成 27 年 4 月 1 日 ～ 4 月 30 日 「やどさがし」  
平成 27 年 5 月 1 日 ～ 5 月 17 日 「めいとこねこバス」  
平成 27 年 5 月 30 日 ～ 6 月 29 日 「たからさがし」  
平成 27 年 7 月 1 日 ～ 7 月 31 日 「水グモもんもん」  
平成 27 年 8 月 1 日 ～ 8 月 31 日 「ちゅうずもう」  
平成 27 年 9 月 2 日 ～ 9 月 30 日 「星をかった日」  
平成 27 年 10 月 1 日 ～ 11 月 9 日 「くじらとり」  
平成 27 年 11 月 21 日 ～ 12 月 27 日 「コロの大さんぼ」  
平成 28 年 1 月 3 日 ～ 1 月 31 日 「めいとこねこバス」  
平成 28 年 2 月 1 日 ～ 2 月 29 日 「パン種とタマゴ姫」  
平成 28 年 3 月 2 日 ～ 3 月 31 日 「やどさがし」

※午前 10 時から午後 6 時までの開館時間中、原則として毎時 15、35、55 分から上映を開始し、午後 5 時 35 分の回で 1 日の上映を終了した。なお、「たからさがし」においては、午前 10 時から午後 6 時までの開館時間中、毎時 00、15、30、45 分から上映を開始し、午後 5 時 30 分の回で 1 日の上映を終了した。

※「くじらとり」「コロの大さんぼ」「めいとこねこバス」「星をかった日」「ちゅうずもう」「たからさがし」の 6 作品においては、1 時間に 1 回、難聴者向け日本語字幕付フィルムで上映した。

### (4) その他の展覧会事業

#### 【ギャラリー展示】

##### 「ミステリーへようこそ」展

会期 平成 27 年 10 月 24 日～平成 28 年 2 月 15 日

本展示では、企画展示「幽霊塔へようこそ」展で取り上げた推理小説『幽霊塔』をきっかけにミステリー小説に興味を持った方へ、次に読む一冊としておすすめの本を紹介した。ミステリーにはハードボイルド、サスペンス小説、スパイ小説、SF などなど、多岐に渡るジャンルがあるが、それぞれのジャンルの代表作から約 20 種類を紹介。実際に本を手にとってご覧頂けるようなコーナーも設置して、ミステリーの魅力について紹介した。



「ミステリーへようこそ」展

## 【特別イベント、クリスマス装飾、演奏会】

### ① クリスマス用装飾

期間 平成 27 年 12 月 2 日～12 月 27 日

クリスマスイベントとして、以下の内容で館内装飾を行なった。

企画展示「幽霊塔へようこそ」展にあわせ、小説『幽霊塔』の世界観を基に作者の江戸川乱歩が生きた明治、大正期の木造屋敷で迎えるクリスマスをイメージして、落ち着いた色合いの空間に赤や金・銅色の細工を加えて、館内を温かく彩った。

また、装飾の期間中クリスマス用特別デザインの入場券を配布した。

### ② クリスマスイベント

日時 平成 27 年 12 月 24 日（木）

一回目 13 時 00 分～13 時 20 分

二回目 17 時 00 分～17 時 20 分

場所 地下 1 階中央ホール

世界的に活躍している、バンドネオン奏者の小松亮太さんに、アルゼンチンタンゴの名曲やジブリメドレー、クリスマスソングなどを演奏していただいた。約 20 分間という短い時間だが、バンドネオンという楽器の情熱的で物悲しい響きがホールに響き渡り、企画展示「幽霊塔」展の妖しくも切ない世界感に相応しいコンサートとなった。



「クリスマスイベント」

### ③ ジブリの森の演奏会 2016

日時 平成 28 年 3 月 11 日（金）

一回目 13 時 00 分～13 時 20 分

二回目 17 時 00 分～17 時 20 分

場所 地下 1 階中央ホール

女性 4 人のアカペラグループの\_AURA に、ジブリソングスを中心にオリジナル曲など 5 曲を歌っていただいた。女性ならではの柔らかな歌声は子どもたちや海外のお客様にも好評だった。



「ジブリの森の演奏会」

## (5) 次年度の企画展示の準備

平成 28 年 7 月 16 日から一般公開する企画展示「猫バスにのって ジブリの森へ」の準備作業を行なった。

(6) 美術館開館日、入館者数等

【美術館開館日】

開館日数 295日 休館日数 71日

今年度は下記のカレンダーのように開館した。10月1日、3日は近隣市民及び三鷹市民招待日とした。休館日は毎週火曜日、展示替え休館（5月18日～5月29日）、メンテナンス休館（11月10日～11月20日）、年末年始（12月28日～1月2日）。5月5日、8月11日、9月22日、11月3日、1月5日は、火曜日だが開館した。

平成27年度 開館日カレンダー ※網目の入った日は休館日

4月	日	月	火	水	木	金	土	10月	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4						1	2	3
	5	6	7	8	9	10	11		4	5	6	7	8	9	10
	12	13	14	15	16	17	18		11	12	13	14	15	16	17
	19	20	21	22	23	24	25		18	19	20	21	22	23	24
	26	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
5月						1	2	11月	1	2	3	4	5	6	7
	3	4	5	6	7	8	9		8	9	10	11	12	13	14
	10	11	12	13	14	15	16		15	16	17	18	19	20	21
	17	18	19	20	21	22	23		22	23	24	25	26	27	28
	24	25	26	27	28	29	30		29	30					
	31														
6月		1	2	3	4	5	6	12月			1	2	3	4	5
	7	8	9	10	11	12	13		6	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19	20		13	14	15	16	17	18	19
	21	22	23	24	25	26	27		20	21	22	23	24	25	26
	28	29	30						27	28	29	30	31		
7月				1	2	3	4	1月						1	2
	5	6	7	8	9	10	11		3	4	5	6	7	8	9
	12	13	14	15	16	17	18		10	11	12	13	14	15	16
	19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30
									31						
8月							1	2月		1	2	3	4	5	6
	2	3	4	5	6	7	8		7	8	9	10	11	12	13
	9	10	11	12	13	14	15		14	15	16	17	18	19	20
	16	17	18	19	20	21	22		21	22	23	24	25	26	27
	23	24	25	26	27	28	29		28	29					
	30	31													
9月			1	2	3	4	5	3月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12		6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19		13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26		20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30					27	28	29	30	31		

## 【入館者数】

月ごとの入館者数と入館料金区分の内訳、時間ごとの平均入館者数は下記の表の通り。

月別入館者数と入館料金区分内訳

月	合計（人）	大人	中高生	小学生	幼児
4月	59,052	48,601	3,704	4,073	2,674
5月	40,652	34,161	1,585	2,884	2,022
6月	54,910	44,442	3,395	4,468	2,605
7月	57,177	42,508	4,767	7,528	2,374
8月	59,108	43,630	4,749	8,001	2,728
9月	56,028	49,701	1,947	2,526	1,854
10月	59,562	51,339	2,258	3,341	2,624
11月	41,046	35,849	1,123	2,364	1,710
12月	52,356	44,936	2,859	2,518	2,043
1月	59,324	48,888	3,165	4,676	2,595
2月	57,677	48,604	3,292	3,202	2,579
3月	60,409	49,524	3,765	3,747	3,373
合計	657,301	542,183	36,609	49,328	29,181
	割合（％）	82.5	5.6	7.5	4.4

時間ごとの平均入館者数

月	開館日数	1日当りの ※ 平均入館者数（人）	10時からの 平均入館者数	12時からの 平均入館者数	14時からの 平均入館者数	16時からの 平均入館者数
4月	26日	2,271	621	546	553	551
5月	18日	2,258	634	549	535	541
6月	25日	2,196	600	559	534	503
7月	27日	2,118	594	508	548	467
8月	28日	2,111	584	567	498	463
9月	26日	2,155	590	541	515	508
10月	27日	2,206	591	534	548	533
11月	18日	2,280	610	581	568	522
12月	23日	2,276	567	606	560	544
1月	26日	2,282	562	599	573	549
2月	25日	2,307	595	592	566	554
3月	26日	2,323	617	583	571	553
合計	295日	2,228	596	563	547	523

※入場者数合計を開館日数で割り、小数点以下を四捨五入した数。

## 【チケットの販売について】

入館料金は以下の通り。(料金はすべて消費税込み)

大人・大学生…1,000円  
中学高校生………700円  
小学生………400円  
幼児………100円(3歳以下は無料)

当美術館では、以下の理由により、チケット販売において日時指定の予約制を導入している。

- ① 大人数が来る事による混雑防止と安全性、快適性の確保
- ② 近隣住民への配慮
- ③ 交通渋滞の抑制
- ④ 地方顧客への配慮
- ⑤ 金銭の授受、システム故障等発生における改札の混乱防止

入場時間は、以下のように1日4回に分け、それぞれの時間を指定したチケットを販売した(入れ替え制ではない)。各回のチケットは600枚で、合計2,400枚を上限とした。2,400枚という数字は、映像展示室の1日当たりの収容力を算出し、これを基にして決定している。

1回目 10時(10時30分までに入場)  
2回目 12時(12時30分までに入場)  
3回目 14時(14時30分までに入場)  
4回目 16時(16時30分までに入場)

日本国内でのチケットの販売は、引き続きコンビニエンスストア「ローソン」にて委託販売を行なった。7月、8月には初の試みとして、チケットの先行抽選販売を行ない、結果、チケットの買占めや転売行為に対し、一定の抑止効果をあげることができた。具体的には、団体客が半減し国内の個人客や家族客の比率を高めることにつながり、併せて、オークションサイトに出品されるチケットも減少させることができた。発売方法の詳細は昨年度と同様につき省略する。

ローソンでのチケット販売実績と入館料金区分の内訳は下記の表の通り。

ローソンでのチケット販売実績

月	合計(人)	大人	中高生	小学生	幼児
4月	54,733	46,774	2,764	3,147	2,048
5月	37,498	32,425	1,250	2,323	1,500
6月	47,800	41,720	2,016	2,473	1,591
7月	51,083	41,938	2,561	4,720	1,864
8月	53,097	42,313	3,003	5,702	2,079
9月	52,497	47,877	1,324	1,885	1,411
10月	52,758	46,957	1,692	2,392	1,717
11月	37,575	33,341	956	1,840	1,438
12月	50,303	44,470	2,057	2,008	1,768
1月	56,106	47,568	2,602	3,698	2,238
2月	53,948	47,049	2,553	2,322	2,024
3月	55,595	46,776	3,124	3,068	2,627
合計	602,993	519,208	25,902	35,578	22,305
	割合(%)	86.1%	4.3%	5.9%	3.7%

※上記数字はローソン販売分のみ。三鷹・近隣市民向け、海外向け分は含まない。

### 【三鷹・近隣市民向けチケット販売について】

より多くの周辺地域の方々に当美術館を楽しんでいただくため、昨年に引き続き、三鷹市民および近隣（武蔵野、小金井、西東京）市民へ向けてチケットを販売している。

#### ① 販売チケット

午前受付券（受付時間 10：00～12：30）、午後受付券（受付時間 14：00～16：30）の各回入館分、各回 50 枚。料金はローソンで販売している入場引換券と同じ。

#### ② 購入方法

対象者（在住・在勤・在学者）であることを証明できる書類（住民票・免許証・保険証・外国人登録証明書・社員証など）を持参のうえ、みたか観光案内所（三鷹駅南口）にて購入。ひとり 6 枚まで。

#### ③ 販売日

3ヶ月ごとの販売。売り出し日は最初の月の前月 1 日から。  
（例：4、5、6 月の販売は 3 月 1 日、7、8、9 月は 6 月 1 日）

三鷹・近隣市民向けチケット販売実績と入館料金区分内訳

販売月	合計（人）	大人	中高生	小学生	幼児
4 月	2,157	1,686	69	239	163
5 月	1,742	1,452	28	132	130
6 月	2,221	1,767	38	215	201
7 月	2,646	1,995	107	350	194
8 月	3,180	2,197	213	485	285
9 月	2,320	1,947	77	167	129
10 月	2,131	1,757	43	135	196
11 月	1,733	1,423	10	139	161
12 月	1,931	1,572	44	129	186
1 月	2,268	1,805	66	182	215
2 月	2,238	1,808	85	127	218
3 月	2,691	2,057	126	221	287
合計	27,258	21,466	906	2,521	2,365
	割合（%）	78.8%	3.3%	9.2%	8.7%

### 【海外向けチケット販売について】

株式会社 JTB の協力を得て、引き続き海外向けのチケットを販売している。チケットは事前予約で日にち指定記名式。販売総数は 1 日約 200 枚まで。料金は現地通貨に換算した金額。

### 海外向けチケット販売実績

	合計(人)	台湾	香港	韓国	アジア その他	アメリカ	カナダ	フランス	イギリス	イタリ	豪州	NZ	西	独	北欧	欧米 その他
4月	4,911	1,255	690	548	279	356	86	278	289	78	509	22	66	28	107	320
5月	3,607	860	393	597	303	272	119	185	169	29	372	35	37	31	54	151
6月	5,006	1,237	654	550	549	891	52	77	140	50	339	15	25	37	132	258
7月	5,843	1,370	842	993	485	588	97	184	276	30	306	6	78	44	249	295
8月	5,921	1,428	836	1,048	344	460	117	373	314	166	129	22	247	29	67	341
9月	5,061	1,299	596	608	258	342	109	100	289	65	665	58	96	29	42	505
10月	4,850	1,246	676	527	273	412	143	138	317	39	532	56	61	33	144	253
11月	3,466	900	485	399	101	500	118	59	154	24	482	21	45	14	37	127
12月	4,588	1,146	610	373	259	509	117	31	139	18	1,031	71	42	17	17	208
1月	4,898	1,297	710	451	130	362	140	20	176	40	1,164	72	33	9	54	240
2月	4,723	1,245	602	466	217	361	124	62	236	16	797	43	29	30	92	403
3月	5,037	1,281	823	402	56	539	211	74	392	41	332	34	104	49	148	551
合計(人)	57,911	14,564	7,917	6,962	3,254	5,592	1,433	1,581	2,891	596	6,658	455	863	350	1,143	3,652
割合(%)		25.1	13.7	12.0	5.6	9.7	2.5	2.7	5.0	1.0	11.5	0.8	1.5	0.6	2.0	6.3

(アジアその他、欧米その他の主な内訳は、JTBグループが主催するツアーへの参加者)

### (7) 三鷹市民招待日など

#### 【三鷹市民デー並びに近隣市民デー】

10月1日(木)に近隣市民デー、10月3日(土)に三鷹市民デーを実施し、両日あわせた来館者数は3,248名だった。

#### 【三鷹市内小学校並びに幼稚園・保育園の美術館見学】

三鷹市内の小学校3年生と、幼稚園・保育園を対象に、美術館見学を実施した。小学校は15校で1,394名、幼稚園・保育園は41園で1,435名が訪れた。

#### 【団体客の来館】

今年度、貸切バスでの来館者数は、貸切バス2,309台、66,834名が来館し、総入館者数に占める割合は10.2%となっている。

### (8) 地域活動

地域との交流を深めるため、三鷹市の下記イベント・行事に参加した。映画の上映や可能なものについてはブースを設置して、財団販売物の販売並びにジブリ美術館、三鷹・近隣市民枠入場券、三鷹の森ジブリ美術館ライブラリーの広報・告知活動を行なった。

平成27年 6月	三鷹消防署主催「自衛消防隊訓練審査会」
平成27年 7月	第38回三鷹商工祭り
平成27年 8月	第48回みたか阿波踊り
平成27年 9月	三鷹八幡大神社例大祭
平成27年 10月	三鷹の森フェスティバル2015
平成27年 11月	第24回三鷹市民駅伝
平成28年 3月	三鷹の森アニメフェスタ2016

## 2：アニメーション作品及びその資料の収集、保管及び展示並びにアニメーション文化に関する調査研究、普及啓発及び活動の奨励（2号事業関係）

### (1) アニメーション美術館に収蔵する作品及び資料等の収集

本年度、新たなアニメーションに関する資料の収集（購入作品、寄贈作品、寄託作品）はない。

### (2) 保有するアニメーションに関する資料の整理・保管

当美術館ではアニメーションに関する資料を現在約 42,000 点保有し、それらは展示、調査研究に活用されている。これら資料は保管するための処置を施し、データベースに登録して管理を行っている。保有している資料のうち約 33000 点は保管処置・データベース登録済だが、約 9000 点が未登録となっており作業を進めている。今年度は、前年度から引き続き行なっていた「コクリコ坂から」の資料の登録作業が完了し、続いて「風立ちぬ」の背景画の整理および登録作業を行なった。

#### ① 保管のための処置

全資料は保管のための下記の処置作業を行なっている（処置作業の詳細は昨年度と同様のため、割愛する）。

- ・付着したゴミや汚れを除去する。
- ・破れた部分を補修する。
- ・資料の劣化を防ぐために中性の紙で保護する。
- ・中性紙で作られた保管箱に入れる。
- ・温湿度管理された収蔵庫内に保管する。

#### ② 収集資料のデータベース構築

整理や検索を容易にするために、下記の項目を定め、収集資料のデータベース化を行なっている。

- ・画像
- ・整理番号（資料を数値化し扱いやすくする）
- ・作品名（どの作品に使用されたものか）
- ・種類（作品の制作の中で何に用いられたものか）
- ・材質（どのような画材を用いているか）
- ・カット番号（作品のどの場面に用いられたものか）
- ・資料及び資料を入れている額のサイズ（大きさ）
- ・資料及び資料を入れている額の状態（劣化状態を把握し、修復の必要性を検討するため）

### (3) 保有する資料の展示

当財団が企画、展示制作協力を行なった下記の展覧会に保有する資料を貸し出し、展示した。

- ・「近藤喜文展」（詳細は 16 ページに記載）  
貸出点数 664 点
- ・「思い出のマーニー×種田陽平」展（詳細は 16 ページに記載）  
貸出点数 176 点
- ・「ジブリの立体建造物」展（詳細は 16 ページに記載）  
貸出点数 426 点
- ・「ジブリの大博覧会」～ナウシカからマーニーまで～（詳細は 16 ページに記載）  
貸出点数 33 点

- ・「米林宏昌原画展」(詳細は 16 ページに記載)  
貸出点数 114 点
- ・「アニメーションと多摩」展(詳細は 17 ページに記載)  
貸出点数 5 点
- ・「第二楽章 男鹿和雄」展(詳細は 17 ページに記載)  
貸出点数 123 点

#### (4) アニメーション文化に関する基礎的調査

作家、作品の基礎的調査を行なうとともに、次年度に開催する企画展示の準備調査を行なった。

#### (5) アニメーション美術館に收藏する作品の収集のための調査

国内外におけるアニメーション作品から広く收藏すべき作品を検討した。今年度も展覧会および関連イベントと合わせて、歴史的に重要なアニメーション作品に関して調査を行なった。

#### (6) 「日本のアニメーション・スタジオ史」の調査研究

本調査研究は、日本でアニメーション・スタジオがいつごろから生まれ、どのような変遷を経たか、その実態を調査するものである。

スタジオ変遷を全体的に調査する作業については昨年度のテレコム・アニメーションスタジオの調査で一応の区切りとし、今後は対象を絞って歴史的に重要と思われるスタジオや作家に焦点をあてた調査を行なう方針としている。

本年度は、開催に協力したアニメーション文化講座(主催：三鷹ネットワーク大学)の講座に連動して、スタジオ史の前史といえる日本伝統文化におけるマンガ・アニメ的なものに関する考察を、高畑勲監督を講師に迎え行なった。

#### (7) アニメーション文化調査研究活動助成制度の実施

##### ①平成 26 年度に助成をした研究者による研究成果について

前年度助成に値する研究者がなかったため、提出はない。

##### ②今年度の助成対象者の募集および決定について

以下の通りの要領で、アニメーション文化に関する研究者を募集した。

##### 1) 趣旨

公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団は、アニメーション文化の理解及び発展のために、国内外におけるアニメーションに関する調査研究活動に対し、助成を行なう

##### 2) 対象とする研究の領域

- ・アニメーションの理論・歴史に関する研究
- ・アニメーション制作方法およびその技術に関する研究
- ・その他、アニメーションに関し、上記の趣旨に寄与する研究

##### 3) 調査研究計画及び助成額

調査研究計画は平成 29 年 3 月 31 日までに調査研究が完了し、成果を取りまとめられるものとする。助成額は 1 調査研究あたり 50 万円以内とし、平成 28 年 3 月 31 日までに支払うものとする

#### 4) 募集の対象者

次の条件の何れかを満たす者

- ・大学院修士または博士課程に在籍する者及び調査研究期間中に進学を予定する者
- ・大学、研究機関、教育機関等において調査研究活動に従事する者
- ・博物館及び図書館で調査研究活動に従事する学芸員・図書館司書等の職員
- ・その他、当該調査研究活動に従事できると当財団が認める者

#### 5) その他の条件

- ・調査研究計画は申請者が主体となって行なう調査研究とする。申請者は個人またはグループに限る
- ・他の調査研究助成制度から既に助成を受けているか、受けることが決定している調査研究は対象外とする
- ・申請者の国籍、在籍地は問わないが、申請及び調査研究発表は日本語に限る
- ・調査研究成果は完全なオリジナルであること、及び調査研究内容に含まれる第三者の著作物に関しては適法に著作権等の処理がなされていることとする

#### 6) 申請の方法

当財団の指定する助成申請書に必要事項を記入し、調査研究計画書（書式自由）とともに提出する

- ・個人（又はグループ）が応募できる調査研究計画はひとりあたり一件に限る
- ・申請の際の申請書、調査研究計画書、添付された資料等は返却しない

#### 7) 研究成果の提出

当助成が決定した場合、当財団と研究成果の提出に関する覚書を締結し、平成 29 年 3 月 31 日までに研究成果を文書にして提出する。研究成果は当財団が行なう普及啓発活動において出版物（Web 等を含む）に、財団が自由に使用できることを条件とする

#### 8) 募集期間及びスケジュール

公募開始	平成 27 年 11 月 30 日
応募要項説明会	平成 28 年 1 月 16 日
応募締め切り	平成 28 年 1 月 31 日
選考委員会議および助成対象者の決定	平成 28 年 2 月 29 日
助成金の交付	平成 28 年 3 月 31 日
中間レポートの提出	平成 28 年 9 月 30 日
研究成果の提出	平成 29 年 3 月 31 日

#### 9) 選考方法

学識経験者及び当財団理事、学芸員で構成する選考委員により、審査選考を行なう

(選考委員)

池田 宏	(元東京工芸大学アニメーション学科教授)
岡田英美子	(アニメーション評論家)
中島順三	(元日本アニメーション株式会社 プロデューサー)
中島清文	(公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団常務理事)

### ③ 助成対象選考審議について

本年度の公募を実施するにあたり、応募希望者に対して募集期間に説明会を開催し（1 月 16 日）、本助成の主旨や調査研究領域、申請書類の書き方などを説明し、質疑応答を行なった。

締め切りまでに7件の応募があり、2月29日には選考委員による選考委員会議を開催した。研究内容を「独創性」「論理性」「実証性」「重要性」の評価基準から評価を行ない、結果、今年度の応募はいずれも助成に値しないという結論となった。

なお、開館以来続けてきた調査研究活動助成制度は今回で一旦休止し、来年度には新たな形の助成制度を立ち上げることになった。

## (8) アニメーション文化についての講演等

本年度も昨年に引き続き、アニメーション文化の普及啓発活動の一環として、三鷹ネットワーク大学の主催する「アニメーション文化講座」に、企画協力および運営協力という形で参加し、オブザーバーとして当財団の評議員も出席した。講座では、日本のアニメーション史を理解する上で重要な鍵を握っている絵巻など伝統絵画が数多く紹介された。アニメーションや絵巻に関心を持つ10代から60代の幅広い層、40名以上の参加者が得られ、成果を上げることができた。

### 【第四回アニメーション文化講座 応用編】

開催日： 平成27年10月9日(金)、16日(金)、23日(金)、30日(金)

開催場所： 三鷹ネットワーク大学

内容： 「日本伝統文化に見るマンガ・アニメ的なもの—その独自の発達と日本語—」

講師： 高畑勲(アニメーション映画監督、弊財団理事)

講座趣旨：

日本には、絵と言葉を使って、時間とともに、ありありと物語を語る芸術が数多く残っている。玉虫厨子の表面に描かれた釈迦の本生譚にはじまり、平安時代から中世にかけての絵巻物、江戸時代の刊本絵本類、影絵芝居、さらには明治以後の紙芝居に至るまで、おびただしい数のマンガ・アニメの先駆的な作品がある。これらは、字の読めない人々への布教のための絵ではなく、識字層のために描かれ、彼らによって楽しまれたものである。識字率の高まりとともにマンガ・アニメ的なものの普及も広がる。なぜだろうか。

マンガ・アニメ的なものが頂点に達した時期は、平安末期と江戸末期と戦後である。これらの時期に共通する特徴は何だろうか。

本講座では、具体的に第一の頂点である平安末期の絵巻物の魅力を味わうところからはじめ、日本語という言葉と、マンガ・アニメ的な絵との関係や、「本質」より「現象」に強い関心を示す日本人の心性にも探りを入れてみたい。

各回内容：

#### 第一回 日本人はアリスの同類だった

アリスは姉の読んでいる書物をのぞき込んで言う。

「絵も会話もない本なんて、何の役に立つのかしら？」

▼日本では平安の昔から連綿と、おびただしい数の「マンガ・アニメ的なもの」が作られてきた。「マンガ・アニメ的なもの」とは、「絵と言葉を使って、時間とともに、ありありと物語を語る芸術」のことである。▼史上、三度のピークがあった。平安末期と江戸末期と戦後である。この時期に共通する特徴とは何か。

#### 第二回 手の中の映画 連続式絵巻

▼画集では絶対味わえない絵巻物の魅力。どのようにして絵の中に「時間」を取り込んだか、その驚くべき表現技法。▼世界の他地域での試みとの違い。▼一瞬の現象を生き生きと捉える。本質より現象に強い関心を抱く日本文化の特徴。東西の辞書を比較してもその特徴がわかる。

### 第三回 草双紙絵で筋を読む炬燵かな（松根東洋城）

▼江戸時代における多様多彩な展開。浮世絵に溢れる情報。毎ページが絵と言葉で埋め尽くされた絵本類（草双紙）の大量出版。 ▼西洋への大きな影響。それがまわりまわってジブリアニメにまで至る。 ▼主観性の導入。正面性。 ▼線の絵の意味。 ▼陰影・立体感の問題。

### 第四回 なぜ日本では「マンガ・アニメ的なもの」が発達したのだろうか-日本文化論-

▼万葉から現代まで連綿と続く「文字と言葉の戯れ」。花開いた素晴らしき“駄洒落文化”。 ▼漢字受容の日本の特質。大和言葉と漢字の共存。識字層の文化。 ▼本質より現象。永遠より一瞬。特異な名付け。オノマトペ。 ▼「永遠」には関心を示さない。災害列島の庶民的無常観。

全四回の講義内容レジュメは上記のとおり。なお、本紀要の巻末の附録として、最終第四回からその模様を一部抜粋し、講師自身が加筆して掲載する。（39頁）

## (9) 図書閲覧室 トライホークス

図書閲覧室トライホークスは、スタジオジブリ作品、アニメーション関連の書籍の他、宮崎駿館主が推薦する創造のきっかけの詰まった絵本、児童書を揃え、来館者が自由に閲覧できる部屋である。ここでは「子どもたちに、ふしぎなものを見て、触れて、感じてほしい」という美術館の思いを「本」という形で伝えていきたいと考えている。

なお平成15年4月より週末を中心に、「お話の会」を行なっている。子どもたちがお話の世界を楽しみ、本と出会うきっかけとなればと考え始めたもので、本年度も継続して実施した。

また閲覧図書のほか、書籍やパンフレット、絵葉書、木口木版画等印刷物の販売を行なっている。

### 【季刊トライホークス】

図書閲覧室の本を紹介するとともに、様々な分野で活躍している方に本を紹介していただき、図書閲覧室の枠をこえ、「本」と出会うきっかけ作りをしていきたいと考え制作している。

本年度は、奥本大三郎氏（フランス文学者）、神宮輝夫氏（絵本作家）、新開孝氏（カメラマン）、真鍋真氏（国立科学博物館）の4人に本の紹介をしていただいた。年4回発行、2色カラー、6ページ、無料配布。

【資料】図書閲覧室 閲覧図書一覧表

平成 27 年度より

書名	作者・編者		訳者	出版社	
三毛猫ホームズの推理	赤川次郎			角川書店	文庫
幽霊塔	江戸川乱歩			岩波書店	
槍ヶ岳山頂	川端 誠			BL出版	絵本
この道はいつか来た道	北原白秋			童話屋	文庫
こぶたのピクルス	小風さち	絵 夏目ちさ		福音館書店	
むしのかお	写真・文 新開 孝			ポプラ社	絵本
びっくり!? 昆虫館	写真・文 新開 孝			岩崎書店	絵本
あな	谷川俊太郎	絵 和田 誠		福音館書店	絵本
ステラと未来	文 野山伸	原案・絵 種田陽平		講談社	
オオサンショウウオ	写真 福田幸広	文 ゆうきえつこ		そうえん社	絵本
ようこそ森へ	村上康成			徳間書店	絵本
学研もちあるき図鑑 まるごと日本の生きもの	監修 木村義志・小宮輝之・高橋秀男			学研	
幻の女	アイリッシュ、ウィリアム		稲葉明雄	早川書房	文庫
クリスマスのフロスト	ウイングフィールド、R・D		芹澤恵	東京創元社	文庫
月おとこ	ウンゲラー、トミー		たむらりゆういち・あそくみ	評論社	絵本
鉄の薔薇	オペール、ブリジット		堀茂樹	早川書房	文庫
ティー・パーティーの謎	カニグズバーグ、E.L.		金原瑞人・小島希里	岩波書店	少年文庫
ジョコンダ夫人の肖像	カニグズバーグ、E.L.		松永ふみ子	岩波書店	
エリコの丘から	カニグズバーグ、E.L.		金原瑞人・小島希里	岩波書店	少年文庫
古い柱時計の秘密(1973)	キーン、キャロリン(エストラッテメイヤー)		谷村まち子	金の星社	
古時計の秘密(2007)	キーン、キャロリン(エストラッテメイヤー)		渡辺庸子	東京創元社	文庫
失われたものたちの本	コナリー、ジョン		田内志文	東京創元社	
白衣の女(上、中、下)	コリンズ、ウィルキー		中島賢二	岩波書店	文庫
月長石	コリンズ、ウィルキー		中村能三	東京創元社	文庫
風の影 上・下	サフォン、カルロス・ルイス		木村裕美	集英社	文庫
夜の語り部	シャミ、ラフィク		松永美穂	西村書店	
あなたに似た人(Ⅰ、Ⅱ)	ダール、ロアルド		田口俊樹	早川書房	文庫
狩場の悲劇(チェーホフ全集3)	チェーホフ、アントン		神西清、原卓也、池田健太郎	中央公論社	
シャーロック・ホームズの冒険	ドイル、コナン		延原謙	新潮社	文庫
シャーロック・ホームズの帰還	ドイル、コナン		延原謙	新潮社	文庫
夏への扉	ハインライン、ロバート・A		福島正実	早川書房	文庫
せいめいのれきし 改訂版	バートン、バージニア・リー	監修 真鍋真	いしいももこ	岩波書店	絵本
大きなたまご	バターワース、オリバー		松岡享子	岩波書店	少年文庫
レイディ・オードリーの秘密	ブラッドン、メアリ・エリザベス		三馬志伸	近代文藝社	
ピートのスケートレース	ポーデン、ルイーズ	絵ダリ、ニキ	ふなとよし子	福音館書店	絵本
赤い館の秘密	ミルン、A・A		大西尹明	東京創元社	文庫
忘れられた花園 上・下	モートン、ケイト		青木純子	東京創元社	
ママは何でも知っている	ヤッフエ、ジェイムズ		小尾英佐	早川書房	文庫
こんにちは、いたずらっ子エーミル	リンドグレーン、アストリッド		石井登志子	徳間書店	絵本
緑の目の令嬢 アルセーヌ＝ルパン全集16	ルブラン、モーリス		大友徳明	偕成社	
カリオストロ伯爵夫人	ルブラン、モーリス		井上 勇	東京創元社	文庫
黄色い部屋の謎	ルルー、ガストン		宮崎嶺雄	東京創元社	文庫
フレデリック	レオニ、レオ		谷川俊太郎	好学社	絵本

## (10) アニメーション関連展覧会への企画協力及び展示制作協力

下記展覧会において、企画及び展示制作協力を行なった。

### ① 「思い出のマーニー×種田陽平」展

場所 愛媛県美術館（愛媛）

会期 平成27年4月3日（金）～6月7日（日）

主催 「思い出のマーニー×種田陽平展」実行委員会

場所 愛・地球博記念公園（愛知県）

会期 平成27年9月12日（土）～11月8日（日）

主催 公益財団法人愛知県都市整備協会、愛知高速交通

### ② 「館長庵野秀明 特撮博物館」展～ミニチュアで見る昭和・平成の技～

場所 熊本市現代美術館（熊本）

会期 平成27年4月11日（土）～6月28日（日）

主催 熊本市現代美術館、くまもと県民テレビ、熊本日新聞社

### ③ 「近藤喜文」展

場所 香川県立ミュージアム（香川）

会期 平成27年8月4日（火）～9月27日（日）

主催 近藤喜文展実行委員会

共催 香川県立ミュージアム、西日本放送、四国新聞社

場所 石ノ森萬画館（宮城）

会期 平成27年10月10日（土）～平成28年4月10日（日）

主催 近藤喜文展実行委員会

共催 石ノ森萬画館・ミヤギテレビ

### ④ 「ジブリの立体建造物」展

場所 釜山市立美術館（韓国・釜山市）

会期 平成27年9月5日（土）～11月29日（日）

主催 スタジオジブリ、三鷹の森ジブリ美術館、釜山市立美術館

### ⑤ 「ジブリの大博覧会」～ナウシカからマーニーまで～

場所 愛・地球博記念公園（愛知県）

会期 平成27年9月12日（土）～11月8日（日）

主催 愛知県、中日新聞社

共催 公益財団法人愛知県都市整備協会、愛知高速交通

下記の展覧会に、保有する資料を貸し出し、展示した。

### ① 米林宏昌原画展

場所 新潟市マンガ・アニメ情報館（新潟）

会期 平成27年3月7日（土）～5月10日（日）

主催 新潟市、テレビ新潟、新潟市マンガ・アニメ情報館、「思い出のマーニー」製作委員会

場所 釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞（北海道）  
会期 平成27年5月16日（土）～7月5日（日）  
主催 「思い出のマーニー」製作委員会、釧路市民文化展実行委員会、札幌テレビ放送、  
公益財団法人釧路教育芸術振興基金、釧路新聞社、釧路市、釧路市立美術館

② 「アニメーションと多摩」展

場所 パルテノン多摩（東京）  
会期 平成27年3月14日（土）～5月24日（日）  
主催 公益財団法人多摩市文化振興財団

③ 「第二楽章 男鹿和雄」展

場所 筆の里工房（広島）  
会期 平成27年7月4日（土）～8月30日（日）  
主催 一般社団法人筆の里振興事業団、中国新聞社

場所 長崎県歴史文化博物館  
会期 平成27年12月12日（土）～平成28年1月24日（日）  
主催 長崎歴史文化博物館、長崎新聞社

#### (11) アニメーション作品の普及啓発活動

世界の優れたアニメーション作品を広く普及していくという趣旨のもと、美術館内の展示だけではなく、映画館での上映やビデオグラムで作品を紹介するため、「三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー」の活動を引き続き行なった。本年度に新しく手がけた作品及び企画はない。

## 【資料】基本財産一覧

### ◆基本財産概要(絵画など)

作品名	合計	イメージボード	セル画	背景付セル画	美術ボード	背景	映画宣伝用素材	絵画	その他
雪の女王	2	2	0	0	0	0	0	0	0
外套	1	1	0	0	0	0	0	0	0
風の谷のナウシカ	3	0	1	0	0	2	0	0	0
天空の城ラピュタ	12	0	1	8	0	3	0	0	0
となりのトトロ	11	0	0	11	0	0	0	0	0
火垂るの墓	11	11	0	0	0	0	0	0	0
魔女の宅急便	19	14	0	4	0	1	0	0	0
おもひでぼろぼろ	19	0	0	6	3	10	0	0	0
紅の豚	18	0	0	18	0	0	0	0	0
そらいろのたね	1	0	1	0	0	0	0	0	0
海がきこえる	10	0	0	10	0	0	0	0	0
平成狸合戦ぽんぽこ	20	0	0	17	0	3	0	0	0
耳をすませば	29	0	0	16	0	0	0	13	0
On Your Mark	8	0	0	8	0	0	0	0	0
もののけ姫	24	0	0	9	0	10	1	0	4
ホーホケキョとなりの山田くん	10	0	0	0	0	0	0	0	10
合計	198	28	3	107	3	29	1	13	14

※原画、動画、背景付セル画、背景は、映画の1カットを最小単位とし、同一カットで複数点数存在しても1点として扱っている。

### ◆基本財産(絵画など/フィルム)

#### 【絵画など】

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
1	イメージボード	「雪の女王」イメージボード	アレクサントル・グイクーロフ イスラエル・シュヴァルツマン	174	220	ポスターカラー	画用紙	
2	イメージボード	「雪の女王」イメージボード	アレクサントル・グイクーロフ イスラエル・シュヴァルツマン	188	210	ポスターカラー	画用紙	
3	イメージボード	「外套」イメージボード	ユーリ・ノルシュテイン	965	2570	ガッシュ及び木炭	紙	2枚組
4	絵画	耳をすませば 小さな家の惑星	井上直久	290	284	アクリル絵の具	セル	
5	絵画	耳をすませば 十字路の小惑星	井上直久	365	373	アクリル絵の具	セル	
6	絵画	耳をすませば 新月と丘(2点重ね)	井上直久	256	379	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
7	絵画	耳をすませば 工房	井上直久	232	380	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
8	絵画	耳をすませば あかりのもれる店	井上直久	233	382	アクリル絵の具	画用紙	
9	絵画	耳をすませば 星6種(6点組合せ)	井上直久	175	163	アクリル絵の具	セル	
10	絵画	耳をすませば 塔の街(2点重ね)	井上直久	233	554	アクリル絵の具	画用紙及びセル	
11	絵画	耳をすませば 図書館のある街	井上直久	594	331	アクリル絵の具	画用紙及びセル	背景画は 男鹿和雄筆
12	絵画	耳をすませば イバラード遠望Ⅱ	井上直久	232	771	アクリル絵の具	画用紙	
13	絵画	耳をすませば 3段重ねの丘(3点重ね)	井上直久	460	656	アクリル絵の具	セル	
14	絵画	耳をすませば 巨大な建築のような雲	井上直久	510	655	アクリル絵の具	セル	
15	絵画	耳をすませば 雲の群	井上直久	481	533	アクリル絵の具	セル	
16	絵画	耳をすませば 壁	井上直久	230	385	アクリル絵の具	画用紙	
17	背景画	風の谷のナウシカ 怒りをしずめた王蟲	スタジオジブリ	282	383	ポスターカラー	画用紙	
18	背景画	風の谷のナウシカ 腐海の内部	スタジオジブリ	270	384	ポスターカラー	画用紙	
19	セル画	風の谷のナウシカ 月刊「アニメージュ」1984年4月号表紙	スタジオジブリ	375	275	セル絵の具	セル	
20	背景付セル画	天空の城ラピュタ オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	290	550	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
21	背景付セル画	天空の城ラピュタ オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	270	461	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
22	背景付セル画	天空の城ラピュタ オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	320	490	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
23	背景付セル画	天空の城ラピュタ オープニング・タイトルバック	スタジオジブリ	390	580	ポスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
24	背景画	天空の城ラピュタ ラピュタの中心部に位置する巨木	スタジオジブリ	903	385	ポスターカラー	画用紙	
25	背景画	天空の城ラピュタ ラピュタの宮殿と空中庭園	スタジオジブリ	730	455	ポスターカラー	画用紙	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
26	背景画	天空の城ラピュタ	シータの住んでいたゴンドアの谷	スタジオジブリ	585	389	ホスターカラー	画用紙	
27	背景付セル画	天空の城ラピュタ	シータを助けるために、ランチャーをムスカに向けるバズー	スタジオジブリ	271	378	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
28	背景付セル画	天空の城ラピュタ	ラピュタを守るため、ある決意をするシータとバズー	スタジオジブリ	261	377	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
29	背景付セル画	天空の城ラピュタ	空中海賊ドローラー味の乗るタイガーモス号	スタジオジブリ	445	904	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
30	背景付セル画	天空の城ラピュタ	ラピュタを手に入れんとするムスカの乗ったゴリアテ	スタジオジブリ	276	860	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
31	セル画	天空の城ラピュタ	空に昇っていくラピュタ	スタジオジブリ	815	387	ホスターカラー及びセル絵の具	セル	背景用ブック
32	背景付セル画	となりのトトロ	見えているとも知らずにメイの前を通りすぎようとするチビトトロ	スタジオジブリ	267	393	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
33	背景付セル画	となりのトトロ	トトロの腹の上ではしゃぐメイ	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
34	背景付セル画	となりのトトロ	バス停前で一緒にバスを待つトトロとサツキ	スタジオジブリ	255	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
35	背景付セル画	となりのトトロ	傘を貸してくれたお礼に何やら包みを渡すトトロ	スタジオジブリ	255	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
36	背景付セル画	となりのトトロ	ネコバスに家まで送ってもらうサツキとメイ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
37	背景付セル画	となりのトトロ	松の木の上からお母さんの元氣そうな様子を見て安心するサツキとメイ	スタジオジブリ	481	753	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
38	背景付セル画	となりのトトロ	お地蔵さんの屋根の下で雨宿り	スタジオジブリ	417	358	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
39	背景付セル画	となりのトトロ	ネコバスに乗って去っていくトトロをサツキとメイは呆然と見送る	スタジオジブリ	423	390	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
40	背景付セル画	となりのトトロ	サツキは近況を知らせる手紙をお母さんに書く	スタジオジブリ	274	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
41	背景付セル画	となりのトトロ	慌てて逃げる中トトロ・チビトトロ、追いかけるメイ	スタジオジブリ	302	375	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
42	背景付セル画	となりのトトロ	「あれっ、何だろう」と目の前を通りすぎていく不思議なものを目で追うメイ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
43	イメージボード	火垂るの墓	蛍の灯す淡い光に囲まれて、草むらに立つ節子の亡霊	スタジオジブリ	138	193	水彩	画用紙	
44	イメージボード	火垂るの墓	お婆さんの家でお風呂に入る清太と節子	スタジオジブリ	135	192	水彩	画用紙	
45	イメージボード	火垂るの墓	横穴塚の外で	スタジオジブリ	135	202	水彩	画用紙	
46	イメージボード	火垂るの墓	蛍を追いかける清太と節子	スタジオジブリ	135	189	水彩	画用紙	
47	イメージボード	火垂るの墓	束の間の日常	スタジオジブリ	136	193	水彩	画用紙	
48	イメージボード	火垂るの墓	清太を待つ節子の前を親子連れが通り過ぎる	スタジオジブリ	134	190	水彩	画用紙	
49	イメージボード	火垂るの墓	夏の思い出	スタジオジブリ	136	192	水彩	画用紙	
50	イメージボード	火垂るの墓	リヤカーに荷物を積んで横穴塚へ引っ越す	スタジオジブリ	137	194	水彩	画用紙	
51	イメージボード	火垂るの墓	捕まえてきた蛍を蚊帳の中で放つ	スタジオジブリ	135	190	水彩	画用紙	
52	イメージボード	火垂るの墓	節子の身体にわいた風をとる清太	スタジオジブリ	136	193	水彩	画用紙	
53	イメージボード	火垂るの墓	栄養失調で日に日に弱っていく節子	スタジオジブリ	135	193	水彩	画用紙	
54	イメージボード	魔女の宅急便	満月の夜、屋根の上に立つキキ	スタジオジブリ	181	127	水彩	画用紙	
55	イメージボード	魔女の宅急便	ドアから顔を出し外の様子をうかがうキキとジジ	スタジオジブリ	255	181	水彩	画用紙	
56	イメージボード	魔女の宅急便	コリコの街ー公園の銅像の下に座るキキ	スタジオジブリ	361	255	水彩	画用紙	
57	イメージボード	魔女の宅急便	坂の下から見たグーチョキパン店	スタジオジブリ	255	362	水彩	画用紙	
58	イメージボード	魔女の宅急便	オキノ郎	スタジオジブリ	127	180	水彩	画用紙	
59	イメージボード	魔女の宅急便	グーチョキパン店の前を通るキキ	スタジオジブリ	255	361	水彩	画用紙	
60	背景付セル画	魔女の宅急便	旅立ちの夜、星空に昇っていくキキ	スタジオジブリ	255	366	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
61	イメージボード	魔女の宅急便	制作の初期段階に描かれたイメージボード	スタジオジブリ	255	214	水彩	画用紙	
62	イメージボード	魔女の宅急便	おソノさんに頼まれて、おしゃぶりを忘れた客に届けるキキ	スタジオジブリ	181	127	水彩	画用紙	
63	イメージボード	魔女の宅急便	コリコの街、メインストリートを飛行するキキ	スタジオジブリ	180	255	水彩	画用紙	
64	イメージボード	魔女の宅急便	トンボを尻目に飛行するキキ	スタジオジブリ	255	361	水彩	画用紙	
65	背景画	魔女の宅急便	パン屋の前から見おろした夕暮れの町	スタジオジブリ	292	467	ホスターカラー	画用紙	

番号	種別	作品名・資料名		制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
66	背景付きセル画	魔女の宅急便	低空飛行のまま歩道に突っ込むキキ	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
67	背景付きセル画	魔女の宅急便	パン屋の台所、お茶をいれるおソノさん	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
68	背景付きセル画	魔女の宅急便	ウルスラの小屋、ネコのぬいぐるみを返してもらいにきたキキ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
69	イメージボード	魔女の宅急便	出発の準備をするキキ	スタジオジブリ	128	182	水彩	画用紙	
70	イメージボード	魔女の宅急便	旅立ちの前のキキとお父さんとの触れ合い	スタジオジブリ	128	181	水彩	画用紙	
71	イメージボード	魔女の宅急便	旅立ちの前のキキ、オープニングのイメージボード	スタジオジブリ	127	181	水彩	画用紙	
72	イメージボード	魔女の宅急便	旅立つキキに自分のホウキを手渡すお母さん	スタジオジブリ	128	180	水彩	画用紙	
73	背景画	おもひでぼろぼろ	校舎／校庭から見た昇降口あたり(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
74	背景画	おもひでぼろぼろ	夕暮れの路地裏風景(おもひで編)	スタジオジブリ	484	380	ホスターカラー	画用紙	
75	背景画	おもひでぼろぼろ	冬の路地裏風景(おもひで編)	スタジオジブリ	427	394	ホスターカラー	画用紙	
76	背景画	おもひでぼろぼろ	タエ子の子供時代の商店街の風景(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
77	背景画	おもひでぼろぼろ	近所の文房具店(おもひで編)	スタジオジブリ	257	363	ホスターカラー	画用紙	
78	背景画	おもひでぼろぼろ	教室／学級会の風景(おもひで編)	スタジオジブリ	271	382	ホスターカラー	画用紙	
79	美術ボード	おもひでぼろぼろ	岡島家・居間(おもひで編)	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
80	背景画	おもひでぼろぼろ	タエ子が滞在した本家・裏庭	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
81	美術ボード	おもひでぼろぼろ	朝霧のけむる紅花畑の夜明け	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
82	美術ボード	おもひでぼろぼろ	紅花畑へ向かう途中の山形県、高瀬の風景	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
83	背景画	おもひでぼろぼろ	里の風景／山形県、相の原分校	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
84	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	エンディングー再会したタエ子とトシオを見送る10歳のタエ子と子供たち	スタジオジブリ	256	674	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
85	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	初恋の人"広田君"と夕日を浴びて立ち尽くすタエ子	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
86	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	岡島家の夕食風景	スタジオジブリ	275	436	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
87	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	10歳のタエ子に導かれあとにして来たばかりの山形県高瀬に戻る27歳のタエ子	スタジオジブリ	250	765	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
88	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	紅花畑で朝日に向かって手をあわせるタエ子	スタジオジブリ	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
89	背景付セル画	おもひでぼろぼろ	乾し草を積んだ荷馬車に揺られるタエ子とトシオ	スタジオジブリ	271	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
90	背景画	おもひでぼろぼろ	本家／玄関	スタジオジブリ	310	715	ホスターカラー	画用紙	
91	背景画	おもひでぼろぼろ	山形の風景	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
92	背景付セル画	紅の豚	ホテル・アドリアーノに飾られたボルコたちの少年時代の写真	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
93	背景付セル画	紅の豚	ボルコの隠れ家－白い石灰岩の洞窟	スタジオジブリ	651	431	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
94	背景付セル画	紅の豚	カーチスに墜落させられた愛機とボルコ	スタジオジブリ	303	678	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
95	背景付セル画	紅の豚	ボルコの類に、不意打ちでキスをするフィオ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
96	背景付セル画	紅の豚	カーチスとの決闘の勝利に喜ぶボルコとフィオ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
97	背景付セル画	紅の豚	フィオとツーショットをきめるマンマユート団のボス	スタジオジブリ	400	623	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
98	背景付セル画	紅の豚	決闘の準備をするボルコとカーチス	スタジオジブリ	285	691	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
99	背景付セル画	紅の豚	一生懸命働くピッコロ社の女たち	スタジオジブリ	254	750	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
100	背景付セル画	紅の豚	飛行艇の上ではしゃぐおちびさんたちに太刀打ちできないボルコ	スタジオジブリ	270	384	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
101	背景付セル画	紅の豚	壊れた愛機を直しにミラノへ向かう船上のボルコ	スタジオジブリ	276	415	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
102	背景付セル画	紅の豚	『さくらんぼの実る頃』を歌うジーナ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
103	背景付セル画	紅の豚	ボルコの回想－雲の平原を流れていく墜落した飛行機群	スタジオジブリ	411	640	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
104	背景付セル画	紅の豚	黄昏の空を飛ぶサボイアS-21	スタジオジブリ	308	415	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
105	背景付セル画	紅の豚	愛機の体勢を立て直そうとするボルコ	スタジオジブリ	250	387	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
106	背景付セル画	紅の豚 次々に増える愛機の修理代の請求書にうんざり顔のポルコ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
107	背景付セル画	紅の豚 旋回するポルコの飛行艇を見て、幼い頃の日々を思い出すジーナ	スタジオジブリ	325	498	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
108	背景付セル画	紅の豚 水面ギリギリを旋回してカーチスの攻撃をかわすポルコ	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
109	背景付セル画	紅の豚 機関砲でポルコに勝負を挑むマンマユート団のボス	スタジオジブリ	430	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
110	背景付セル画	海がきこえる 吉祥寺駅で電車を待つ里伽子	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
111	背景付セル画	海がきこえる 夏休み、親友の松野の待つ学校へ向かう拓	スタジオジブリ	240	331	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
112	背景付セル画	海がきこえる 父のいる東京へ向かう飛行機の中で微笑む里伽子	スタジオジブリ	270	410	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
113	背景付セル画	海がきこえる 東京・成城の町並み。父の住むマンションへ向かう里伽子と付きそう拓	スタジオジブリ	260	354	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
114	背景付セル画	海がきこえる 再会した父に裏切られたと泣きながら拓の泊まるホテルへきた里伽子	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
115	背景付セル画	海がきこえる 拓の胸に顔をうずめて泣きじゃくる里伽子	スタジオジブリ	250	340	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
116	背景付セル画	海がきこえる 里伽子のふるまいがもとでケンカになる二人、里伽子はおもわず拓の頬を平手打ちする	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
117	背景付セル画	海がきこえる 里伽子をめぐって気まずい思いをした松野と拓。しかし、卒業後また再会して…	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
118	背景付セル画	海がきこえる 同窓会風景	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
119	背景付セル画	海がきこえる 吉祥寺駅ホームで拓を見つめる里伽子	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
120	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ すずき原で糞つきをする正吉とおキヨ	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
121	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 多摩丘陵の雑木林	スタジオジブリ	255	746	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
122	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 多摩丘陵の農家のたたくまい一柿を見上げる狸	スタジオジブリ	250	720	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
123	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 万福寺で化け学の講義を受ける狸たち	スタジオジブリ	265	880	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
124	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 族長会議で、化け学の復興と人間研究に取り組むことを決議	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
125	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 空き家となった農家の前で	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
126	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 春一狸たちに恋の季節がめぐってきた	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
127	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 雛の節句の様子を藪陰から見ている幼い頃の正吉たち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
128	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 万福寺の庭での鶴亀和尚	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
129	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 春は深まり、子狸たちが誕生した	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
130	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 春に誕生したばかりの子狸たち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
131	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ 多摩丘陵－万福寺周辺の風景、梅はまだ七分咲き	スタジオジブリ	243	664	ホスターカラー	画用紙	
132	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 狸たちの術によって蘇ったむかしの多摩丘陵の風景。お地藏さんにお祈りする親子の姿	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
133	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 変わりにはた自分たちの住処、多摩丘陵を見て愕然とする狸たち	スタジオジブリ	241	707	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
134	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ 開発が進んでいく途中の造成地風景	スタジオジブリ	250	704	ホスターカラー	画用紙	
135	背景画	平成狸合戦ぽんぽこ アケビ、秋の多摩丘陵	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	ハーモニ ー処理
136	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 空き家となった家をねぐらにする狸たち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
137	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 農家は取り壊しとなり住処を追われる狸たち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
138	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 秋の夕暮れ。少なくなった餌を奪い合う狸たち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
139	背景付セル画	平成狸合戦ぽんぽこ 沢の水辺で餌を探す狸たち	スタジオジブリ	270	384	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
140	背景付セル画	On Your Mark 連れ去られた天使を、呆然と見送る二人の警官	スタジオジブリ	270	381	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは監督)	サイズ H (mm)	サイズ W (mm)	技法	材質	備考
141	背景付セル画	On Your Mark 夜の地下都市をヘリバトが降下していく	スタジオジブリ	285	500	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
142	背景付セル画	On Your Mark 放置された住宅の家並みの中に建つ、奇妙で巨大な建造物	スタジオジブリ	265	690	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
143	背景付セル画	On Your Mark 陽炎が立ちこめる中、荒地を進む黄色い大型トレーラー	スタジオジブリ	259	380	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
144	背景付セル画	On Your Mark 再度、天使の救出に挑む二人	スタジオジブリ	308	429	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
145	背景付セル画	On Your Mark 天使を助け出そうとして攻撃を受ける二人の警官。それでも何とか天使を空へ逃そうとする。	スタジオジブリ	346	387	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
146	背景付セル画	On Your Mark 田圃を疾走する“アルファロメオ・ジュリエッタ”。風に向かい翼を広げる天使	スタジオジブリ	250	363	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
147	背景付セル画	On Your Mark 天使が飛び去る(6枚を1枚組として)	スタジオジブリ	740	860	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
148	セル画	そらいろのたね さらに大きくなった家に、ゆうじと友だちの子どもたちや動物がどんどん入っていく	スタジオジブリ	299	371	セル絵の具	セル	
149	背景付セル画	耳をすませば 地球屋にあった人形“バロン”	スタジオジブリ	427	318	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
150	背景付セル画	耳をすませば 奇妙な猫“ムーン”との出会い	スタジオジブリ	264	354	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
151	背景付セル画	耳をすませば 図書カードに“天沢聖司”の名前をみつける雫	スタジオジブリ	271	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
152	背景付セル画	耳をすませば 杉本から「好きだ」と告白され、動揺する雫	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
153	背景付セル画	耳をすませば 落ち込んで地球屋の前に座り込む雫	スタジオジブリ	255	362	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
154	背景付セル画	耳をすませば 夏の朝、ペランダから空を見上げる雫	スタジオジブリ	271	381	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
155	背景付セル画	耳をすませば 聖司の伴奏で恥ずかしそうに『カントリーロード』を歌う雫	スタジオジブリ	254	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
156	背景付セル画	耳をすませば 聖司がイタリアへ発つ前夜、図書館の前で	スタジオジブリ	557	355	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
157	背景付セル画	耳をすませば 多摩川の上空より見た夜景	スタジオジブリ	576	395	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
158	背景付セル画	耳をすませば 「試験のヤマがあたった」と自慢する杉村に皮肉で答える雫と、杉村を意識してあとずさるタ子	スタジオジブリ	254	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
159	背景付セル画	耳をすませば 杉村を見て顔を赤くするタ子、それを横目で見て微笑む雫	スタジオジブリ	342	486	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
160	背景付セル画	耳をすませば 「イタリアへ行けるようになった」と屋上で雫に話す聖司	スタジオジブリ	255	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
161	背景付セル画	耳をすませば 物語を書き終え、いろいろな思いが込み上げてきた雫は、泣き出してしまふ	スタジオジブリ	253	360	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
162	背景付セル画	耳をすませば 自分の書いた物語を西老人に読んでもらっている間の雫。どう評価されるか不安な表情	スタジオジブリ	265	630	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
163	背景付セル画	耳をすませば 自転車朝日を見に行く途中、聖司の背にそっと顔を埋める雫	スタジオジブリ	314	481	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
164	背景付セル画	耳をすませば 出来上がった物語を持って地球屋を訪ねる雫	スタジオジブリ	474	345	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
165	背景付セル画	もののけ姫 森の精霊コタマたち	スタジオジブリ	270	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
166	背景画	もののけ姫 太古の森	スタジオジブリ	995	753	ホスターカラー	画用紙	
167	背景画	もののけ姫 アンタカが住むエミシー族の里の見張り台	スタジオジブリ	605	364	ホスターカラー	画用紙	
168	背景画	もののけ姫 シン神の池の水面に浮かぶ小島	スタジオジブリ	637	383	ホスターカラー	画用紙	
169	背景画	もののけ姫 タタラ場を上から見おろす	スタジオジブリ	470	747	ホスターカラー	画用紙	
170	背景画	もののけ姫 タタラ場全景	スタジオジブリ	270	562	ホスターカラー	画用紙	
171	背景画	もののけ姫 シン神が消えた後、蘇った森の風景	スタジオジブリ	264	1051	ホスターカラー	画用紙	
172	背景画	もののけ姫 シン神が消えた後、崩壊したタタラ場跡	スタジオジブリ	436	707	ホスターカラー	画用紙	
173	背景画	もののけ姫 西を目指し、旅を続けるアンタカが通ったとある町はずれの風景	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー	画用紙	
174	背景画	もののけ姫 町はずれの風景	スタジオジブリ	298	507	ホスターカラー	画用紙	
175	背景付セル画	もののけ姫 山犬の背に乗り、人間との戦いとのかくサン	スタジオジブリ	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは 監督)	サイズ H(mm)	サイズ W(mm)	技法	材質	備考
176	背景付セル画	もののけ姫	コダマたち	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
177	背景付セル画	もののけ姫	シン神の森のコダマたち	270	382	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
178	背景付セル画	もののけ姫	山刀をつきつけられながらも、アシタカは言う「そなたは美しい」と	273	480	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
179	背景付セル画	もののけ姫	アシタカにとどめを刺そうと山刀を喉元につきつけるサン	276	385	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
180	背景付セル画	もののけ姫	シン神の池	272	1009	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
181	背景付セル画	もののけ姫	サン	271	392	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
182	背景付セル画	もののけ姫	タタラ場の大屋根の上に立つサン	271	383	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
183	背景画	もののけ姫	シン神の消滅後、森に再び緑が芽ぶき出した	815	390	ホスターカラー	画用紙	
184	映画宣伝素材	もののけ姫	映画用第1弾ポスターの絵柄。矢をつがえる主人公アシタカ	592	419	ホスターカラー及びセル絵の具	画用紙及びセル	
185	美術ボード	もののけ姫	太古の森	257	364	ホスターカラー	画用紙	
186	美術ボード	もののけ姫	森には真っ昼間でも太陽光線の届かない暗間がある	257	364	ホスターカラー	画用紙	
187	美術ボード	もののけ姫	樹齢何千年、何万年の木々	257	364	ホスターカラー	画用紙	
188	美術ボード	もののけ姫	太古の森	257	364	ホスターカラー	画用紙	
189	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	運動会	251	315	その他	その他	
190	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	TVに熱中している家族に初雪を知らせ、家族写真を撮ろうとする父・たかし	251	315	その他	その他	
191	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	たかしが、新聞を読みたがっているのを知っていても、「私が読んでから」を平然のまっ子	251	315	その他	その他	
192	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	年賀状の仕分け競争をする山田一家	251	315	その他	その他	
193	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	「この桜も、あと何回見られるやろか…」としみじみするしげ	251	315	その他	その他	
194	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	のぼるに振られ、一人でキャッチボールをする父・たかし	251	315	その他	その他	
195	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	注文をまっ子に決めさせ、それに便乗するたかし	251	315	その他	その他	
196	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	仕事の封筒を家に置き忘れたの思い込むたかしだったが...	251	315	その他	その他	
197	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	山田家のポチ	251	315	その他	その他	
198	着彩ボード	ホーホケキョ となりの山田くん	七五三	251	315	その他	その他	

## 【フィルム】

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは監督)	時間 (分)	カラー	画面サイズ	音質	備考
199	フィルム	アリとキリギリス	The Grasshopper and the Ant	ウラディスワフ・スレーヴィチ	5	モノクロ	スタンダード	サイレント
200	フィルム	ベルギーの百合	The Lily of Belgium	ウラディスワフ・スレーヴィチ	11	モノクロ	スタンダード	サイレント
201	フィルム	惑星間革命	The Interplanetary Revolution	ゼノン・コミサレンコ、 ユリー・マルクーロフ、 ニコライ・ホダターエフ	8	モノクロ	スタンダード	サイレント
202	フィルム	ソビエトのおもちゃ	Soviet Toys	ジガ・ヴェルトフ	13	モノクロ	スタンダード	サイレント
203	フィルム	スケート	Skate	ユリー・ジャリヤーブシスキー	7	モノクロ	スタンダード	サイレント
204	フィルム	中国っ子の冒険	The Adventures of Chinese Kids	M.V.ベンデルスカヤ、 S.A.ベンデルスキー	19	モノクロ	スタンダード	サイレント
205	フィルム	郵便	The Post	ミハイル・ツィハノフスキー	16	モノクロ	スタンダード	サイレント
206	フィルム	生活の支配者	The Ruler of Lifestyle	アレクサンドル・フトラシコ	17	モノクロ	スタンダード	モノラル
207	フィルム	泥棒	The Thief	アレクサンドル・イワノフ、 パンテレイモン・サザーノフ	10	モノクロ	スタンダード	モノラル
208	フィルム	自動オルガン	The Musical Box	ニコライ・ホダターエフ	20	モノクロ	スタンダード	モノラル
209	フィルム	皇帝ドランダイの話	Czar Durandai	イワン・イワノフ、 ウレンチナ・ブルムベルグ、 ジナイダ・ブルムベルグ	22	モノクロ	スタンダード	モノラル
210	フィルム	新ガリヴァー	The New Gulliver	アレクサンドル・フトラシコ	78	モノクロ	スタンダード	モノラル
211	フィルム	にぎやかな航海	The Noisy Voyage	ウラジミール・ステエフ	14	モノクロ	スタンダード	モノラル
212	フィルム	イワシコとバーバ・ヤーガ	Ivashko and Baba-Yaga	ウレンチナ・ブルムベルグ、 ジナイダ・ブルムベルグ	11	モノクロ	スタンダード	モノラル
213	フィルム	おろかな子ネズミの話	The Tale of the Silly Little Mouse	ミハイル・ツィハノフスキー	11	カラー	スタンダード	モノラル
214	フィルム	船乗りシンドバット	Sindbad the Sailor	ウレンチナ・ブルムベルグ、 ジナイダ・ブルムベルグ	21	モノクロ	スタンダード	モノラル
215	フィルム	雪の女王	The Snow Queen	レフ・アタマーノフ	65	カラー	スタンダード	モノラル

番号	種別	作品名・資料名	制作者 (もしくは監督)	時間 (分)	カラー	画面サイズ	音質	備考
216	フィルム	話の話	Tale of Tales	ユリー・ノルシュテイン	33	カラー	スタンダード	モノラル
217	フィルム	おおさぎと鶴	The Heron and the Crane	ユリー・ノルシュテイン	11	カラー	スタンダード	モノラル
218	フィルム	霧につつまれたハリネズミ	The Hedgehog in the Fog	ユリー・ノルシュテイン	11	カラー	スタンダード	モノラル
219	フィルム	25日、最初の日	25 October, the First Day	ユリー・ノルシュテイン	10	カラー	スタンダード	モノラル
220	フィルム	ケルジネツの戦い	The Battle of Kerzhenets	イワン・イワノフ＝ワノ ユリー・ノルシュテイン	11	カラー	シネスコ	モノラル
221	フィルム	せむしのこま	Konyok-Gorbunok	イワン・イワノフ＝ワノ	60	カラー	スタンダード	モノラル
222	フィルム	キツネとウサギ	The Fox and the Hare	ユリー・ノルシュテイン	13	カラー	スタンダード	モノラル
223	フィルム	風の谷のナウシカ		スタジオジブリ	116	カラー	ヒスタ	ステレオ
224	フィルム	天空の城ラピュタ		スタジオジブリ	124	カラー	ヒスタ	ステレオ
225	フィルム	となりのトトロ		スタジオジブリ	86	カラー	ヒスタ	ステレオ
226	フィルム	火垂るの墓		スタジオジブリ	88	カラー	ヒスタ	ステレオ
227	フィルム	魔女の宅急便		スタジオジブリ	102	カラー	ヒスタ	ステレオ
228	フィルム	おもひでぽろぽろ		スタジオジブリ	118	カラー	ヒスタ	ステレオ
229	フィルム	紅の豚		スタジオジブリ	93	カラー	ヒスタ	ステレオ
230	フィルム	海がきこえる		スタジオジブリ	72	カラー	ヒスタ	ステレオ
231	フィルム	平成狸合戦ぽんぽこ		スタジオジブリ	118	カラー	ヒスタ	ステレオ
232	フィルム	耳をすませば		スタジオジブリ	111	カラー	ヒスタ	ステレオ
233	フィルム	もののけ姫		スタジオジブリ	133	カラー	ヒスタ	ステレオ
234	フィルム	もののけ姫(英語版)	Princess Mononoke	スタジオジブリ	133	カラー	ヒスタ	ステレオ
235	フィルム	ホーホケキョ となりの山田くん		スタジオジブリ	103	カラー	ヒスタ	ステレオ
236	フィルム	On Your Mark		スタジオジブリ	7	カラー	ヒスタ	ステレオ
237	フィルム	草原の子テングリ		桜映画社	20	カラー	スタンダード	モノラル
238	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第1話「アルムの山へ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
239	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第2話「おじいさんの山小屋」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
240	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第3話「牧場で」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
241	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第4話「もう一人の家族」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
242	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第5話「燃えた手紙」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
243	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第6話「ひびけ口笛」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
244	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第7話「桜の木の音」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
245	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第8話「ピッチーよどこへ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
246	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第9話「白銀のアルム」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
247	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第10話「おばあさんの家へ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
248	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第11話「吹雪の日」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
249	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第12話「春の音」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
250	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第13話「再び牧場へ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
251	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第14話「悲しい知らせ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
252	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第15話「ユキちゃん」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
253	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第16話「デルフリ村」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
254	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第17話「二人のお客さま」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
255	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第18話「離ればなれに」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
256	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第19話「フランクフルトへ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
257	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第20話「新しい生活」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
258	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第21話「自由に飛びたい」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
259	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第22話「遠いアルム」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
260	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第23話「大騒動」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
261	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第24話「捨てられたミーちゃん」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
262	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第25話「白パン」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
263	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第26話「ゼーゼマンさんのお祭り」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
264	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第27話「おばあさま」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
265	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第28話「森へ行こう」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
266	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第29話「ふたつのところ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
267	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第30話「お陽さまをつかまえない」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
268	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第31話「さようならおばあさま」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
269	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第32話「あらしの夜」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
270	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第33話「ゆうれい騒動」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
271	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第34話「なつかしの山へ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
272	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第35話「アルムの星空」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
273	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第36話「そして牧場へ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
274	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第37話「山羊のあかちゃん」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
275	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第38話「新しい家で」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
276	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第39話「がんばれベーター」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
277	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第40話「アルムへ行きたい」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
278	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第41話「お医者さまの約束」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
279	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第42話「クララとの再会」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
280	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第43話「クララの願い」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
281	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第44話「小さな計画」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
282	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第45話「山の子たち」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
283	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第46話「クララのしあわせ」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
284	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第47話「こんにちわおばあさま」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
285	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第48話「小さな希望」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
286	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第49話「ひとつの誓い」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
287	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第50話「立ってごらん」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
288	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第51話「クララが夢見た」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	
289	フィルム	アルプスの少女ハイジ 第52話「また会う日まで」	ズイヨー	25	カラー	スタンダード	モノラル	

### 3：三鷹市の公の施設に係る指定管理者の指定を受けて行なうアニメーション美術館の管理運営 (3号事業関係)

三鷹市の委託を受けて三鷹市立アニメーション美術館の運営を行なうとともに、下記のように施設の管理を行なった。

#### 【建物保安警備】

セコム株式会社に保安警備を委託し、24時間の警備員常駐による警備を行なった。

#### 【建物設備保守】

主に、開館日及び通常休館日において、建築物や什器・備品の簡易修繕、経年劣化による設備機器の修繕や消耗部品交換を実施した。

突発的な故障への応急処置、是正作業として、各種の設備不良に対応を行なった。中でも空調機器や衛生機器の器具故障が増加傾向にあったが、その都度、部品交換で対応して事なきを得た。

建物の修繕では、室内ならびに屋外部の建具、床、壁面の木部塗装を実施し、美観と共に安全にも配慮しながら全館的な施設維持・保全を実施した。また、平成28年度の改修工事に関連して、調査・設計を株式会社日本設計へ委託し、工事準備を進めた。

植栽管理としては、悠樹舎、株式会社苑友造園に植栽ゾーンの定期作業を委託し、中低木剪定や草刈等定期作業を計画的に実施した。さらに、有限会社タナベナーセリーにデッキ・パティオの草花類の植替え作業を委託し、季節感のある環境・景観維持に努めた。

#### 【建物清掃】

三井不動産ファシリティーズ株式会社に建物清掃業務を委託し、開館日の日常清掃と共に、休館日毎の定期清掃を行なった。

その他、美術館より排出される廃棄物は志賀興業株式会社に処理を委託した。

#### 【防災関連】

日常の個別訓練とともに、美術館全スタッフ参加の総合訓練を以下の通りに実施した。

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ・自転車安全講習（講話：三鷹警察） | 平成27年5月                |
| ・自衛消防訓練審査会        | 平成27年6月                |
| ・防災行政無線通信訓練       | 平成27年6月、8月、12月、平成28年2月 |
| ・防災訓練（防災設備復旧手順確認） | 平成27年11月               |

平成28年3月末には、認定期間満了につき改めて査定を受け、再び「優良防火対象物認定証」の交付を受けることができた。

#### 4：三鷹市の委託を受けて行なうアニメーションに関する事業（4号事業関係）

##### 【三鷹の森アニメフェスタ 2016 への協力】

日時 平成 28 年 3 月 5 日(土) 11 時 00 分～17 時 30 分  
会場 三鷹市芸術文化センター「星のホール」  
主催 三鷹市  
入場料 無料  
入場者 500 名 （三鷹市広報、美術館ホームページなどで告知・公募し、抽選）

##### 上映作品

第一部 動物とアニメーション 12 時 30 分～15 時 00 分

- ①「こねこのスタジオ」 （森やすじ／1959 年／16 分／日本）
- ②「雌牛」(アレクサンドル・ペトロフ／1989 年／10 分／ロシア)
- ③「ひつじのショー チャンピオンシップス」(リチャード・スターザック／2012 年／1 話 1 分／イギリス)
- ④「夜のとばりの物語 嘘をつかなかった若者」(ミッシェル・オスロ／2010 年／13 分／フランス)
- ⑤「黒いきこりと白いきこり」(藪下泰次／1956 年／15 分／日本)
- ⑥「ダム・キーパー」 （堤大介、ロバート・コンドウ／2014 年／18 分／アメリカ）

第二部 「百日紅～Miss HOKUSAI～」特別上映とトークショー 14 時 30 分～17 時 30 分

- ⑦「百日紅～Miss HOKUSAI～」(原恵一／2015 年／93 分／日本)

(上映作品 作品名/監督名/制作年/上映時間/制作国)

『アニメーション古今東西 その 13』と題し、第一部では、『動物とアニメーション』というテーマを掲げ、作品の中で動物が活躍したり、擬人化されたキャラクターが主人公になった短編映画を、様々な技法で作られた世界の作品から 6 本選定し、解説を付して上映した。

第二部は、昨年夏公開された「百日紅～Miss HOKUSAI～」を上映し、上映後にはゲストとして現代アーティストである小松美羽さんを招き、司会の小島一宏アナウンサーを聞き手にトークイベントを実施した。主人公と同じ女性画家という視点から、映画の感想や自身の創作活動について幅広く語っていただき、最後には、短い時間であったが、ステージ上でライブペインティングを披露していただいた。

## 5：展覧会事業に付帯する図録その他の印刷物並びにアニメーション文化に関する出版物、映像及び音楽に関する製品の製作及び販売（5号事業関係）

### (1) 出版物の制作販売

以下の印刷物を新たに制作し、当美術館の図書閲覧室や中央ホールの案内所等にて販売した。

- ・企画展パンフレット「幽霊塔へようこそ展」  
B5版 / 40頁 / 700円（税込）
- ・展示ポストカード「幽霊塔へようこそ展」5種類

また、以下の印刷物も引き続き販売した。

- ・美術館パンフレット 日本語（2010年改訂版）
- ・美術館パンフレット 英語（2010年改訂版）
- ・美術館図録改訂版（2012年増補改訂版）
- ・映画パンフレット 9種類  
（「くじらとり」「コロの大きなぼ」「めいとこねこバス」「星をかった日」「水グモもんもん」  
「やどさがし」「ちゅうずもう」「パン種とタマゴ姫」「たからさがし」）
- ・展示パンフレット  
「アードマン展」  
「3びきのくま展」  
「小さなルーヴル美術館展」  
「崖の上のポニョ展」  
「ねこバスから見た風景展」  
「挿絵が僕らにくれたもの展」  
「ジブリの森のレンズ展」  
「クルミわり人形とネズミの王さま展」
- ・美術館絵葉書セット（12枚）
- ・美術館ポストカード（画 吉田昇） 11種類
- ・展示ポスター「ユーリー・ノルシュテイン展～ノルシュテインとヤールブソワの仕事」
- ・展示ポストカード「クルミわり人形とネズミの王さま展」 11種類
- ・宮崎敬介氏 木口木版画ポストカード 6種類
- ・セル画「Art Collection of Ghibli Museum」
- ・宮崎敬介氏 木口木版画
- ・しおり 6種類
- ・木のしおり 2種類
- ・星のノート 4種類

## (2) アニメーション映画のライブラリー事業

アニメーション映画の普及啓発活動として取り組んでいる三鷹の森ジブリ美術館ライブラリー事業は、非劇場上映を中心とするフィルムレンタル、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンから発売されるビデオグラム販売、テレビ局への放映権販売の3本を柱に継続している。今年度は、下記作品の劇場上映やDVDの制作等を行なった。なお、フィルム等の貸し出しは一部、株式会社 KADOKAWA に委託している。

「ウォレスとグルミット ベーカリー街の悪夢」他短編3作品

<上映素材貸し出し>

- |       |  |
|-------|--|
| 7月11日 | 親子名作映画会（埼玉/八潮メセナ）  |
| 7月19日 | こども映画館（青森/青森県立美術館）   |
| 7月26日 | 第20回左近川イブニングファンタジー<br>（東京/新田コミュニティセンター）                        |
| 9月13日 | 知的、発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム<br>「劇場って楽しい！」（大阪/国際障害者交流センター ビッグアイ） |

「フレデリック・バックの映画」

<上映素材貸し出し>

- |       |                                  |
|-------|----------------------------------|
| 5月17日 | 第12回里山シンポジウム in 山武（千葉/山武市立大富小学校） |
| 11月3日 | 邑の映画会 vol.8（群馬/邑楽町立中野小学校）        |

「ひつじのショー」

<上映素材貸し出し>

- |            |  |
|------------|--|
| 5月2日～5日    | 上映会（神奈川/川崎市アートセンター）  |
| 5月2日       | アイリス映像祭 2015 かりやキネコ映画祭 for kids（愛知/刈谷市総合文化センター）                |
| 8月2日       | キッズスタジアム 2015 「星空キッズシネマ」（神奈川/横浜スタジアム）                          |
| 8月12日      | キッズスタジアム 2015 「星空キッズシネマ」（神奈川/横浜スタジアム）                          |
| 8月18日～24日  | ひつじのショー WORLD（東京/小田急百貨店町田店）                                    |
| 9月13日      | 知的、発達障がい児(者)にむけての劇場体験プログラム<br>「劇場って楽しい！」（大阪/国際障害者交流センター ビッグアイ） |
| 9月19日～21日  | キネコ国際映画祭 2015（東京/渋谷区文化総合センター）                                  |
| 10月24日～25日 | 東京国際映画祭 みなと上映会（東京/TOHO シネマズ 六本木ヒルズ、政策研究大学院大学）                  |
| 1月17日      | 三重そうぶんキッズシネマスクエア（三重/三重県総合文化センター）                               |
| 3月5日       | 三鷹の森アニメフェスタ 2016   |
| 3月5日～6日    | キネコ国際映画祭 presents せたがや子ども映画祭（世田谷区民会館）                          |
| 3月19日      | キネコ国際映画祭 in いちのみや（愛知/一宮市市民会館）                                  |

「夜のとばりの物語」

<上映素材貸し出し>

- |      |                  |
|------|------------------|
| 3月5日 | 三鷹の森アニメフェスタ 2016 |
|------|------------------|

「夜のとばりの物語 -醒めない夢-」

<上映素材貸し出し>

- |      |                   |
|------|-------------------|
| 8月1日 | 白鳥庭園 観蓮会（愛知/白鳥庭園） |
|------|-------------------|

「キリクと魔女」

<上映素材貸し出し>

- |       |                            |
|-------|----------------------------|
| 6月28日 | 映画で楽しむ「イメージの力」（福島/郡山市立美術館） |
|-------|----------------------------|

「しわ」

<上映素材貸し出し>

10月3日	上映会（愛知/岩倉市生涯学習センター）
11月24日	上映会（神奈川/玉市民会館）
3月26日	上映会（東京/輝きプラザ）

**【DVD・ブルーレイ化業務】**

ライブラリー作品のDVDおよびブルーレイは、ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパンより発売され、「パンダコパンダ」「ひつじのショー」を中心に毎月着実な販売を続けた。今年度に新たにリリースされた作品は以下の通り

7月17日	「パンダコパンダ」のブルーレイおよびデジタルリマスター版DVD
12月16日	「ひつじのショー バック・トゥ・ザ・ホーム」のブルーレイ+DVD
3月16日	「ひつじのショー シリーズ4①」「ひつじのショー シリーズ4②」のブルーレイおよびDVD

**【放映権の販売業務】**

今期は新規の放送権販売はなかった。

**6：その他この法人の目的を達成するために必要な事業（6号事業関係）**

特になし。

## 7：広報活動報告

年間を通して日本国内外のメディアからの取材を受けた。今年度は企画展示「幽霊塔へようこそ展」のマスコミ向け発表会を軸に活動を行なった。また夏休み 7-8 月入場分チケットに関して、新たな試みとして先行抽選販売を実施し、この件に関する告知が加わったため、昨年よりも露出総数が増えた。

### (1) 広報宣伝活動

- ① 年度を通して取材対応期間とし、国内外問わず美術館取材を受けた
- ② 年度を通じて新聞/雑誌/web/テレビ媒体を中心に写真等の広報素材の貸出を行なった
- ③ 企画展示「幽霊塔へようこそ展 -通俗文化の王道-」の開催に合わせて、下記のような広報活動を行なった
  - 1) 平成 27 年 4 月 3 日（金）より美術館ホームページにて新展示のポスター画像と展示紹介を掲載したのを機に、新企画展の広報活動を開始
  - 2) 新企画展示の発表のニュースリリースを、マスコミ・関係者 30 社に送付し、web メディアを中心に露出した
  - 3) マスコミ向け発表会  
日 時：平成 27 年 5 月 30 日（金）13:30～16:30  
参加者：マスコミ/関係者 70 社約 100 名参加  
映像展示室「土星座」にてジブリ美術館館長の中島清文と、協賛の日清製粉グループ本社総務本部広報部長の町田英樹氏が挨拶。その後、企画展示の題材となった江戸川乱歩の小説『幽霊塔』を、講談師の神田陽司さんが口演した。マスコミは、武蔵野記者クラブなどの地元メディアや、日本テレビなどのテレビ媒体、読売新聞や朝日新聞など、新聞・雑誌・web・テレビ媒体が来場した。日清製粉グループ関係の食品関連マスコミも来場した
  - 4) 財団関係者/マスコミ関係者を中心に、招待状約 1900 枚を送付/配布
- ④ 下記イベントでマスコミ向けにニュースリリースを送付し取材に対応した
  - 1) 平成 27 年 7 月 21 日（火）幽霊塔へようこそ展 特別企画「みんなで泊まろう！ジブリ美術館」武蔵野記者クラブを中心に、マスコミ 3 社 4 名来場
  - 2) 平成 27 年 12 月 24 日（木）クリスマスコンサート  
マスコミ 2 社 2 名来場
  - 3) 平成 28 年 3 月 5 日（土）三鷹の森アニメフェスタ 2016  
マスコミ 3 社 3 名来場
  - 4) 平成 28 年 3 月 11 日（金）ジブリの森の演奏会  
マスコミ 2 社 2 名来場
- ⑤ 16 年夏に台湾で開催されるイベント「ジブリのアニメーション世界」特別展示会に関連して取材協力を行なった
  - 1) イベントを特集する新聞・テレビ媒体の館内取材対応と広報素材の貸出を行なった
  - 2) 平成 28 年 1 月 13 日（水）に台湾のマスコミ関係者約 10 名の受け入れを行なった。美術館の施設紹介に関するインタビュー取材を中島清文館長が受けた
- ⑥ 美術館のホームページの管理運営を行なった
  - 1) 最新情報や美術館日誌の更新回数を増やし、新しい情報を提供するホームページ作りに取り組んだ

- 2) 企画展示、ギャラリー展示、クリスマス装飾、映像展示室上映作品のスケジュールなどの情報を適宜掲載した
- 3) カフェ「麦わらぼうし」のメニュー一覧表にメニューの写真掲載を始め、見やすいページ作りに努めた
- 4) 「財団年報 2014-2015（平成 27 年度）」、「平成 27 年度 事業計画」「平成 27 年度 収支予算書」を全ページ掲載した
- 5) 季刊紙「トライホークス」の記事「本棚より」の掲載と、ミュージアムショップの商品制作を紹介する「マンマユート便り」の記事制作と掲載を年各 4 回行なった
- 6) その他美術館の日誌、開館時間や休館日、イベント募集などを随時更新した
- 7) 新企画展示紹介、美術館運営、上映スケジュール、チケット販売についての英語版ページを随時更新した

⑦ スタジオジブリ発行の小冊子『熱風』にて、「幽霊塔へようこそ展」やオリジナル短編アニメーション、改修工事、チケット販売のお知らせ等の告知広告を掲載した

⑧ コンビニエンスストア「ローソン」が展開するジブリ美術館のチケット発売告知に年度を通して協力した。27 年度は予約希望の集中する 7-8 月入場分チケットの先行抽選販売を初めて実施したため、販促物の制作や販売告知が増えた

- 1) ローソン店内で掲示/配布される店内ポスター（毎月上旬掲示）、POS レジ画面（毎月 10 日前後）、Loppi グッズカタログ（毎月 1 日発行）、月刊ローソンチケット（毎月 15 日）、美術館カタログ（平成 27 年 10 月 1 日（木）4 c 6 p 関東甲信越のローソン店舗にて配布）のための取材/広報素材貸出に協力。またローソンの企業 SNS である twitter/Facebook/Passbook での予約制チケット告知にも協力した
- 2) 平成 27 年度 7-8 月入場分チケット先行抽選販売のためのチラシ制作（関東甲信越の全店舗に設置）に協力した。その他、先行抽選販売告知に特化した特別ポスター、店内用 POP、ラジオ CM 制作に協力した
- 3) ローソンチケットの雑誌広告（『AERA』平成 27 年 6 月 22 日（月）と 12 月 7 日（月）発売号に掲載）の制作に協力した
- 4) 平成 28 年度 7-8 月分入場チケットの先行抽選販売を、平成 28 年 3 月 1 日（火）からジブリ美術館公式サイト上で告知開始し、マスコミ向けにニュースリリースを配信した（露出約 40 媒体）

⑨ 海外向けチケットを販売している JTB のパンフレットおよびチケット販売国メディアへ広報素材の貸出を行なった

## （2）印刷物・CM等の制作

- ① 企画展示「幽霊塔へようこそ展」の展示パンフレット（平成 27 年 7 月 31 日発行）を制作した
- ② 日清製粉グループの協賛新聞広告（読売新聞/毎日新聞ともに平成 28 年 3 月 19 日（土）夕刊、産経新聞 3 月 21 日（祝・月）に協力した

【資料】広報資料媒体一覧表

掲載日・放送日	媒体名	記事の形体/放送時間	記事タイトルまたは内容
<b>平成27年</b>			
4月	AQM (韓国語)	4c6p	美術館紹介・利用案内
	VIVID	4c2p	美術館紹介・利用案内
4月1日	アニメなんでも図鑑	1c	美術館紹介・利用案内
4月2日	NEWS アンサー	16:52~	美術館グッズ (ペーコマ) 紹介
4月3日	アニメ! アニメ! (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	アメーバニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (アニメ! アニメ! より)
	オリコンスタイル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	Yahoo!ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	BIGLOBEニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	朝日新聞デジタル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	沖縄タイムス (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	ねとらぼ (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	クランクイン! (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	exciteニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (クランクイン! より)
	livedoorニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (クランクイン! より)
	アメーバニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (クランクイン! より)
	シネマトゥデイ (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	Yahoo!ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (シネマトゥデイより)
インフォシークニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (シネマトゥデイより)	
初夏びあ	4c	企画展示「クルマわり人形とネズミの王さま展」紹介	
4月4日	IROIRO (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	ハフントンポスト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	cinemacafe (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	Yahoo!ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (cinemacafeより)
	インフォシークニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (cinemacafeより)
	読売新聞 (新聞)	1c	転売目的購入者逮捕記事
	朝日新聞 (新聞)	1c	転売目的購入者逮捕記事
4月5日	映画.com (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (映画.comより)
	アメーバニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (映画.comより)
	インフォシークニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (映画.comより)
	東京新聞サンデー版 (新聞)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
4月6日	映画ナター (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
4月15日	月刊ローソクチケット4/15号	4c	企画展示「クルマわり人形とネズミの王さま展」紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	企画展示「クルマわり人形とネズミの王さま展」紹介
4月20日	教育家庭新聞「体験学習MAP」	4c	美術館紹介・利用案内
4月28日	ぶらぶら美術・博物館 プレミアムアートブック2015-2016	4c	美術館紹介・利用案内
4月下旬	Hotels Style Plus	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月	タイムアウト東京 (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	とりこむ5月号	1c	美術館紹介・利用案内
	杏林大学案内	4c	美術館紹介・利用案内
5月15日	夏Walker	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	月刊ローソクチケット5/15号	4c	館内施設紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	館内施設紹介
5月17日	広報みたか	2c	先行抽選販売
5月20日	美術の窓 6月号	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月21日	MAMOR	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	夏びあ2015首都圏版	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月22日	るるぶ東京・横浜 東京スカイツリー'16	4c	美術館紹介・利用案内
5月28日	LIVINGむさしの (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	タ・ヴィンチニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	楽天WOMAN (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	マイナビニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	livedoorニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	BIGLOBEニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	LIVINGむさしの (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月29日	MANTAN WEB (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	BIGLOBEニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (MANTAN WEBより)
	日テレNEWS47 (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	オリコンスタイル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	朝日新聞デジタル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	楽天WOMAN (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	373news.com (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	47NEWS (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	上毛新聞ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	宮崎日日新聞 (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (オリコンスタイルより)
	シネマトゥデイ (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	Yahoo!ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (シネマトゥデイより)
	産経ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	産経Biz (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	Yahoo!ニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (産経新聞より)
	映画ナター (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	三鷹市フォトニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	ファッションプレス (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	アニメ! アニメ! (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	タ刊アメーバニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (アニメ! アニメ! より)
	アニメ! アニメ! (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介

掲載日・放送日	媒体名	記事の形体/放送時間	記事タイトルまたは内容
5月29日	夕刊アメーバニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (アニメ!アニメ!より)
	cinemacafe (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	msn (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介 (cinemacafeより)
5月30日	三鷹市フォトニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	朝日新聞 (新聞)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	朝日新聞デジタル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	読売新聞 (新聞)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月31日	アニメ!アニメ! (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
5月31日	テレビマンユニオンニュース	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」撮影紹介
6月	京王ニュース	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	旅鶴 夏号	4c	美術館紹介・利用案内
6月1日	NTV「ZIP!」	5:30~	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	MITACA CITY NEWS	1c	先行抽選販売
6月2日	おとなの週末	4c	美術館紹介・利用案内
6月2日	ラーラぼど 6月号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月4日	夏休み こどもとあそぼ! 2015 首都圏版	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月4日	るるぶ夏休み こどもとあそぼ! 2015	4c	美術館紹介・利用案内
6月5日	中国新聞週刊情報誌「Cue」	4c	美術館紹介・利用案内
6月6日	朝日新聞 (新聞/夕)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月6日	朝日新聞デジタル (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月7日	FASHIONPRESS (web)	4c	美術館紹介・利用案内
6月8日	朝日新聞アニメガキ (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月9日	都政新報 (新聞)	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	毎日新聞 (新聞)	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	毎日新聞 (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月10日	Casa BRUTUS 7月号	4c4p	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月11日	まっふるマガジン 東京へでかけよう16	4c2p	美術館紹介・利用案内
6月11日	週刊文春	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月12日	るるぶ東京観光'16	4c2p	美術館紹介・利用案内
6月14日	Ozmall (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月15日	月刊ローソクチケット6/15号	4c	カフェメニュー紹介
	ローソンHPスタジオリポータルサイト (web)	4c	カフェメニュー紹介
	パンニュース	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月19日	いごよ (web)	4c	美術館紹介・利用案内
	BCCJACUMEN (英語・web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	CUT	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	セブンネットショッピング (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月21日	広報みたか	2c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月22日	AERA	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月23日	週刊SPA!	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月24日	公明新聞 (新聞)	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月25日	月刊モデルグラフィックス 8月号	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月25日	みたくちこみテレビ (ラジオ)	9:45~	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月26日	吉祥寺Walker	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
6月27日	ココロ「東京」	4c 1/9	美術館紹介
6月28日	日本経済新聞 (新聞)	1c	『幽霊塔』『幽霊塔へようこそ展』紹介
	日本経済新聞 (web)	4c	『幽霊塔』『幽霊塔へようこそ展』紹介
6月30日	市民便利帳「三鷹くらしのガイド」	1c	美術館紹介・利用案内
7月	日清だより	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月1日	trico7月号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	やかましネットワーク	2c	トライホークス
7月3日	MOE	4c 1/2p	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月4日	日経エンタテインメント 8月号	4c	美術館紹介・利用案内
7月8日	健康と医学7月号	4c3p	美術館紹介・利用案内
7月13日	たびねず (web)	4c	美術館紹介・利用案内
7月15日	月刊ローソクチケット7/15号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月15日	ローソンHPスタジオリポータルサイト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月19日	NHKアーカイブス (TV)	13:50~	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月22日	三鷹市フォトニュース (web)	4c	おとまり会イベント紹介
	読売新聞 (新聞)	1c	おとまり会イベント紹介
7月23日	朝日新聞 (新聞)	1c	おとまり会イベント紹介
7月28日	GLOW	2c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
7月29日	ダ・ヴィンチニュース (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月	るるぶ.com (web)	4c	美術館紹介・利用案内
8月1日	MITACA CITY NEWS	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	キャラクターランド vol.2	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	MITACA CITY NEWS	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月2日	広報みたか	2c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月4日	日経エンタテインメント 9月号	4c	美術館紹介・利用案内
8月5日	カンタン東京さんぽ'16	4c	美術館紹介・利用案内
8月11日	野生時代	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月12日	ミステリーズ!	1c4p	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月15日	月刊ローソクチケット8/15号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月15日	ローソンHPスタジオリポータルサイト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月16日	広報みたか	2c	三鷹市・近隣市民権チケッ発売・NW大学告知
8月23日	サンデー毎日	1c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
8月25日	るるぶ特別編集「学生会館のある街2016」	4c	美術館紹介・利用案内
8月25日	まっふるマガジン 東京ベストスポット2016	4c	美術館紹介・利用案内
9月3日	練馬アニメーションサイト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介

掲載日・放送日	媒体名	記事の形体/放送時間	記事タイトルまたは内容
9月7日	エコチル	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
9月11日	まっぶる 超詳細! 東京 さんぽ地図	4c	美術館紹介・利用案内
9月15日	月刊ローソクチケット9/15号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
9月18日	るるぶ東京ベスト16 ちいサイズ	4c	美術館紹介・利用案内
9月25日	るるぶ東京ベスト16	4c	美術館紹介・利用案内
10月	投資信託 SMBCフレンド証券	4c	鈴木プロデューサーインタビュー内 美術館紹介
10月1日	オークヴィレッジ通信	4c	オリジナルグッズ「MOKURIN」紹介
10月2日	TOKYOデトスベシヤルなび11月号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
10月4日	広報みたか	2c	三鷹の森フェスティバル告知
10月7日	kodomoe	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
10月15日	月刊ローソクチケット10/15号	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
	ナタリー (web)	4c	三鷹の森フェスティバル
10月19日	三鷹市フォトニュース (web)	4c	三鷹の森フェスティバル
10月31日	朝日新聞 (新聞/夕)	1c	USJ転売防止/先行抽選販売
	日本経済新聞 (新聞)	1c	USJ転売防止
11月	BENTO BOX (英)	4c	美術館紹介・利用案内
11月12日	かぞking 東京・横浜	4c	美術館紹介・利用案内
11月15日	月刊ローソクチケット11/15号	4c	館内施設紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	館内施設紹介
	広報みたか	2c	三鷹市・近隣市民枠チケット発売告知
11月25日	TOKYO TREND RANKING	4c	美術館紹介・利用案内
12月8日	ことりぶ東京	4c2p	美術館紹介・利用案内
12月15日	月刊ローソクチケット12/15号	4c	ギャラリー展示「ミステリーへようこそ展」紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	ギャラリー展示「ミステリーへようこそ展」紹介
12月20日	広報みたか	2c	新企画展示「幽霊塔へようこそ展」紹介
12月25日	朝日新聞 (新聞)	1c	クリスマスコンサート紹介
	三鷹市フォトニュース (web)	4c	クリスマスコンサート紹介
12月29日	cakes「片桐仁のアート探訪」 (web)	4c	美術館紹介・利用案内
平成28年			
1月	東京親子旅ガイド (繁体字)	4c	美術館紹介・利用案内
	日清便り	4c	ライブライイベント紹介
1月5日	春夏秋冬びあ2016-2017 首都圏版	4c	美術館紹介・利用案内
1月15日	月刊ローソクチケット1/15号	4c	館内施設紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	館内施設紹介
1月17日	広報みたか	2c	三鷹市・近隣市民枠チケット販売方法変更告知
1月26日	聯合報 (新聞/台湾)	4c	「ジブリのアニメーション世界」特別展示記事内にて紹介
	聯合報 (新聞/台湾)	4c	「ジブリのアニメーション世界」特別展示記事内にて紹介
1月27日	有川浩「倒れるときは前のめり」	1c	「赤毛のアン」公開記念小冊子寄稿文転載
1月28日	こどもとおどかけ365日	4c	美術館紹介・利用案内
1月31日	全国映画資料館録	1c	美術館紹介・利用案内
2月3日	まっぶる家族でどおかけ 関東周辺17	4c3p	美術館紹介・利用案内
2月7日	広報みたか	2c	三鷹の森アニメフェスタ告知
2月13日	るるぶこどもとあそび! 首都圏16~17	4c	美術館紹介・利用案内
2月15日	月刊ローソクチケット2/15号	4c	トライホークス書籍紹介
	ローソクHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	トライホークス書籍紹介
2月21日	広報みたか	2c	三鷹市・近隣市民枠チケット発売告知
3月	ザ・キュラー	4c	美術館紹介・利用案内
	JTRIP Smart Magazine東京 (web)	4c	美術館紹介・利用案内
	att.ANIME (英・中・韓)	4c	美術館紹介・利用案内
	BENTO BOX (英)	4c	美術館紹介・利用案内
	楽々東京	4c	美術館紹介・利用案内
3月1日	南日本新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	朝日新聞デジタル (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	河北新報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	日本経済新聞 (新聞)	1c	先行抽選販売・チケット記名式
	東京新聞 (新聞/夕)	1c	先行抽選販売・チケット記名式
	東京新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	日経新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	ナタリー (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	オリコンスタイル (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	Yahoo!ニュース (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	アメーバニュース (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	niftyニュース (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	47NEWS (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	紀伊民報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	exciteニュース (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	宮崎日日新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	沖縄タイムス (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	北海道新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	群馬上毛新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	琉球新報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	楽天WOMAN (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	千葉日報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	中日新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	福井新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	福島民報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	新潟日報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式

掲載日・放送日	媒体名	記事の形体/放送時間	記事タイトルまたは内容
3月1日	東京新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	徳島新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	長崎新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	四国新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	西日本新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	秋田魁新報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	四国新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	京都新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	山陰中央新報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	若手日報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	東奥日報 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (オリコンスタイルより)
	cinemacafe (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	毎日新聞 (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	アニメ!アニメ! (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	ねとらぼ (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
	BIGLOBEニュース (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式 (ねとらぼより)
	教育旅行	1c2p	美術館紹介・利用案内
MITACA CITY NEWS	1c	三鷹市・近隣市民枠チケット販売方法変更告知	
3月2日	読売新聞 (新聞)	1c	先行抽選販売・チケット記名式
	YOMIURI ONLINE (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
3月3日	YOMIURI ONLINE (web)	4c	先行抽選販売・チケット記名式
3月5日	cinemacafe (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
	楽天WOMAN (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
	BIGLOBEニュース (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
	映画.com (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
	アメーバニュース (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
	楽天WOMAN (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
3月7日	三鷹市フォトニュース (web)	4c	三鷹の森アニメフェスタ
3月10日	マニマニ東京	4c	美術館紹介・利用案内
3月15日	ケーブルテレビ	18:00/19:30/21:30	3/11コンサートイベント
	月刊ローソンチケット3/15号	4c	館内施設、カフェメニュー紹介
	ローソンHPスタジオジブリポータルサイト (web)	4c	館内施設、カフェメニュー紹介
3月18日	テーマパークびあ	4c	美術館紹介・利用案内
3月19日	産経新聞 (新聞)	4c	日清製粉協賛広告
	毎日新聞 (新聞/夕)	4c	日清製粉協賛広告
	読売新聞 (新聞/夕)	4c	日清製粉協賛広告
3月22日	まっふる東京	4c2p	美術館紹介・利用案内
	TOKYO美術館2016-2017	4c4p	美術館紹介・利用案内
3月25日	MATCHA (web)	4c	美術館紹介・利用案内
3月25日	&TRAVEL 東京 2017	4c	美術館紹介・利用案内
3月26日	テレビ東京「出沒! アド街ツク天国」	21:00~	美術館紹介・利用案内
3月28日	るるぶ東京17	4c	美術館紹介・利用案内
3月30日	パリアフリー情報ガイド (日・英)	4c	美術館紹介・利用案内
	VISIT JAPAN CAMPAIGN	4c	美術館紹介・利用案内
3月31日	レッツエンジョイ東京 (web)	4c	美術館紹介・利用案内
	聯合報 (新聞/台湾)	4c	「ジブリのアニメーション世界」特別展示記事内にて紹介

8 : 平成 27 年度決算報告

貸借対照表  
平成 28 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産	547,348,830	287,242,282	260,106,548
2.固定資産			
(1)基本財産	533,161,337	533,161,337	0
(2)特定資産	1,556,854,000	1,556,854,000	0
(3)その他固定資産	126,090,535	127,211,577	△1,121,042
固定資産合計	2,216,105,872	2,217,226,914	△1,121,042
資産合計	2,763,454,702	2,504,469,196	258,985,506
II 負債の部			
1.流動負債	71,832,296	108,634,338	△36,802,042
負債合計	71,832,296	108,634,338	△36,802,042
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	1,513,161,337	1,513,161,337	0
2.一般正味財産	1,178,461,069	882,673,521	295,787,548
正味財産合計	2,691,622,406	2,395,834,858	295,787,548
負債及び正味財産合計	2,763,454,702	2,504,469,196	258,985,506

正 味 財 産 増 減 計 算 書  
平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	4,354,797	4,354,634	163
事業収益	773,033,253	780,606,305	△7,573,052
受取寄付金	300,000,000	0	300,000,000
雑収益	2,002,100	1,862,268	139,832
経常収益計	1,079,390,150	786,823,207	292,566,943
(2)経常費用			
事業費	772,417,372	813,754,629	△41,337,257
管理費	6,210,365	6,191,197	19,168
経常費用計	778,627,737	819,945,826	△41,318,089
当期経常増減額	300,762,413	△33,122,619	333,885,032
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
固定資産除却損失	504,965	130,268	374,697
経常外費用計	504,965	130,268	374,697
当期経常外増減額	△504,965	△130,268	△374,697
他会計振替繰入額	24,773,123	11,114,501	13,658,622
他会計振替繰出額	24,773,123	11,114,501	13,658,622
税引前当期一般正味財産増減額	300,257,448	△33,252,887	333,510,335
法人税、住民税及び事業税	4,469,900	2,920,400	1,549,500
当期一般正味財産増減額	295,787,548	△36,173,287	331,960,835
一般正味財産期首残高	882,673,521	918,846,808	△36,173,287
一般正味財産期末残高	1,178,461,069	882,673,521	295,787,548
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	980,000,000	△980,000,000
基本財産運用益	4,354,797	4,354,634	163
一般正味財産への振替額	△4,354,797	△4,354,634	△163
当期指定正味財産増減額	0	980,000,000	△980,000,000
指定正味財産期首残高	1,513,161,337	533,161,337	980,000,000
指定正味財産期末残高	1,513,161,337	1,513,161,337	0
III 正味財産期末残高	2,691,622,406	2,395,834,858	295,787,548



【附録】

なぜ日本では「マンガ・アニメ的なるもの」が発達したのだろうか  
-日本文化論-

アニメーション映画監督  
公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団理事

高畑 勲

この講座は、とりあえずいろんな面白い絵をお見せしたい、見て驚いてもらいたい、その一心でやってきたわけで、まだまだ一杯あって今日とても見せきれないんですけれども、日本文化論というのを掲げたからには、そのとぼ口にまでは至らなければならないので、今日はできるだけお話をします。それで、じつは昨日が誕生日です、80歳になりましたー（拍手）ーどうも、いや、それはどうでもいいんですけど、その時にですね、メールをくれた人が数人いて、みんな「傘寿おめでとう」って書いてあるのね。サンジュって傘という字書きますね。それは八十だからですね、傘の略字が。ああいうの皆そうです。喜寿っていうのは七十七を崩し字にすると喜ぶという字に近いとか、八十八の米寿はおめでたそうとか。でも傘寿や卒寿や白寿とかはただの駄洒落でしょう？ 百から一引いて「白」が九十九なんて。ああいうの、漢字使ってるから起源は中国なんだと思いますか？

じつは、ああいう変なことをするのは、日本人なんです。要するに漢字という視覚言語で遊んでるわけ。メールの絵文字も、テレビの音声にかぶせたテロップによるギャグも、「へのへのもへじ」や「棒が一本」など、日本にしかない「絵描き歌」も、もっと昔の「葦手」も、葦手というのは筆で綺麗に葦を描いたのかな？とよく見たらそれが和歌を書いた文字だったというものですが、みんな言葉の「絵」と「意味」と「音」による戯れであり遊びです。

日本文化で何が一番ユニークかと言えば、それは言語体系だと思います。言語学的には、言語は音声だけで自立しているはずなのに、日本では早くから、いわゆる「言葉」と「文字」が絡み合って切り離せない、1対1で対応しない、すなわち音声言語と視覚言語が複雑に重層する、ということがあります。そしてそれを面白がって、言葉や文字で戯れたり遊んだりする、という文化が発達してきたんですね。何故日本でマンガ・アニメ的なものが発達したのかということを考えるうえで、これは大変大きな要素なのではないか。

日本語では同音異義を平気で許します。漢字による同音異義語には、かたよる「偏在」と、あまねくの「遍在」のように、意味がまるっきり正反対になるものが私が集めただけでも二十以上あるんです。すごく意味がとりにくいのに、同音異義を平気で許している。ということは、言葉を聞いたとき、視覚で文字を思い浮かべる能力に依存しているということです。ですから駄洒落が大好きです。広告など、駄洒落だらけですよ。

コンピューターのワープロ機能で、平仮名を入れると変換された漢字がたくさん並んで出てきますが、駄洒落が得意な人というのは、パソコンなど存在しないときから、こういう変換能力が非常に発達していた人のことなんです。瞬時にいっぱい変換できて、それを取捨選択して組み立てる能力に長けているから、せっかく思いついたのを黙ってはおれなくて人に披露してしまう。嫌われたりするけど、じつはすごい能力なのです。しかし、駄洒落はともかく、ある程度の瞬間的な変換能力は日本人である以上、あるいは日本語を使う以上、必ず持たなくてはなりません。そもそも変換機能というのが世界的に見て一般的ではありませんよね。

駄洒落が他の国の言葉に無いかと言えば、それは勿論あります。昔の詩から今のラップに至るまで、韻を踏むのは大好きです。けれどそれは主に音声同士でやるのであって、音声言語とそれを書き表す文字との間で、そういうやり取りとか戯れをこんなに熱心にやっているのは、おそらく世界で日本語

が唯一ではないでしょうか。江戸時代も盛んでした。『親敵討腹鼓』（おやのかたきうてやはらつゞみ）というお話の中の狸は、首尾良く兎（うさぎ）を真っ二つにしますが、頭と胴のそれぞれは鶉（う）と鷺（さぎ）になって飛んでいっちゃう。そして二羽は鰻をつかまえてきて、世話になった夫婦のところへ持ってくる。そのとき、「これで命をうなぎたまへ」と言うんです。「つなぎ」の駄洒落ですが、「う」と「つ」の字が似ているという視覚的要素が入っていることに注目してください。十返舎一九の辞世は、「この世をばどりゃおいとまにせんこうのけむりのなかにはいさやうなら」です。落語の「青菜」や狂言の「箕被」（みかづき）など、駄洒落や掛詞を主眼にした演目もあるし、もっと遡って平安時代、百人一首は真面目そうな恋の歌も懸詞（かけことば）だらけで、「来ぬ人をまつほの浦の夕風に焼くや藻塩の身も焦がれつつ」の「松」と「待つ」のように、少ない字数の中で情景と人情を同時に表現するためのすばらしい手段になっているのですが、じつはあれだって原理は駄洒落と同じで、同音異義なんです。しかも、和歌での言葉遊びには、音声によるのではなく、書かれてはじめて駄洒落の面白さが分かるものも多い。たとえば、「いとはれてこそ」と書いて、「厭われて」と「いと晴れて」を懸けるとか、書くとき濁点を打たないから二様に読めて洒落になるとか。日本では「歌」だからといって必ずしも音声的とはかぎらず、すでに平安の昔から、懐紙かなにかにさらさらっと書いて取り交わすという、視覚的な側面が強かったことをよく示しているのだと私は思います。

私たちの『かぐや姫の物語』の原作「竹取物語」も、各エピソードは駄洒落で落ちがつかます。しかも、鉢と恥の「はちを捨つ」、敢へと阿部の「あへなし」、食べがたいと耐えがたいの「あなたへかた」などは、発声ではなく文字を見てこそ駄洒落が分かるんです。（何十年も前、台湾ではコココーラのことを「口可口楽」と書くと聞いて大変感心したことを思い出しました。私が知らないだけで、こういう見事なものが中国語にはいっぱいあるのかもしれない。）

音声と文字での戯れの最たるものと言えば、名付けです。日本ではどう読んだらいいのか分からない名前を平気でつけます。それを許している。文字が優先登録されるだけ。こんな民族はまずありません。普通、各民族で、文字と音声はほぼ1対1で対応するんです。ところが日本では、何であれ、読みがまちまちでも、誰も不思議がらない。藤野町はフジノマチかフジノチョウか。小田部はコタベかオタベか。学校の先生は最初の出席を取る時、氏名の読みにいつも困ります。苗字であれ名前であれ、本人に聞かなきゃならない。「どう読むの」とか「こう読んでいいの?」とか。先生に間違っ読まれて、それを訂正する勇気が出ない気の毒な子もいます。今、キラキラネームが話題になっていますが、そういう名を付ける親御さんは、視覚的な字面（じづら）と意味、音声と意味の両方を、名前として子どもに贈ろう、自分も楽しもうという、大変欲張りな人たちなんです。問題になった「悪魔」という名だって、それを「てんし」と読んでもそのこと自体は許されるはずですし、愛基を「あき」、美誠を「みま」と読んだり、「さやか」なんて、万葉仮名風に「紗耶香、沙也加」あるいは「清花」などなど、ステキな字がいくらでもあります。

しかしじつは、こんなのは昔からあったことで、平安貴族の名をどう読むか、学者で意見が分かれたり、江戸のはじめに曲直世道三（まなせどうざん）という名の医者がいたり、もうむちゃくちゃ。最近の乱れというより、もともと日本語にあった問題が、より露骨になっただけのことなのです。

最初に、日本文化で何が一番ユニークかと言えば、それは、音声言語と視覚言語を重層させる言語体系をもつことだと言いました。言語学的には、言語は音声だけで自立しているはずですし、中国から文字、漢字ですね、漢字が入ってくるまでは日本でもそうだったわけです。ところが、文字のなかった大和民族が文字言語である漢字を受け入れる、その受容のあり方がじつにユニークだったのです。

漢字本来の漢文、すなわち中国語を習得するのは、英語を習って読み書きするのと同じですね。その中で、どうしても必要な固有名詞など大和言葉は、漢字の一字ずつを表音文字として使って記述する。これもローマ字と同じやり方、いわゆる万葉仮名です。次に漢語を単語として大和言葉の会話の中で使うのも「ピッチャーがボールをキャッチした」と同じやり方で、特にユニークではありません。当時の知識人がすばらしいのは、中国語を巧みに操って官僚仕事をこなし、文書は漢文で書き、先進文化に触れ、エリート意識を満足させただけでなく、その文字（漢字）を使って、自分たちの土着の文化、大和言葉そのものを、どうやって記述しようか、それを考え抜き、工夫して、それを見事に成し遂げたことです。彼らは漢字を受け入れても、大和言葉を決して捨てなかった。

万葉集は日本の長短の和歌をそのまま音として読めるように漢字で記述したのですが、表音文字の万葉仮名だけでなく、もう訓読みもしているんです。訓読みというのは、漢字の意味を大和言葉に翻訳して、その大和言葉で漢字を読む、ということです。すごい工夫で、当たり前みたいに「訓読み」なんて片付けしないで、もっと驚いてもいいことなんですよ。それだけでもすごいのに、もう駄洒落や頓智をいっぱい使っているんです。言語と戯れている。びっくりします。

「二八十一あらくに」というのは、八十一が九九で、「にくくあらくに」と読みます。「十六」と書けば「しし」です。では、「見るごとに、恋はまされど、色に山上復有山ば」はどう読むと思いますか。「山上復有山」は山の上にまた山がある、すなわち「出」で、「色に出（いで）ば」なんです。恋の歌なのにふざけてますね。こういう工夫が一番感心するのは、孤独の悲しみの「孤」と「悲」で表記した恋、「孤悲」（こひ）です。

「旅にして もの恋ほしきに 鶴（たづ）が音（ね）も 聞こえずありせば 恋て死なまし」という歌ですが、最初の「恋ほしきに」の場合は「戀」と書いて「こひ」と訓読みしたのに、「恋て死なまし」は、「孤悲て死萬思」と書いてある。日本における恋愛感情というものはしばしば「孤悲」だったんですね。I miss you. 離れていて寂しい、悲しいということが「恋ふる」ということだったので、もうぴったりです。その上、「死にたい」が「死萬思」なんて、すごすぎます。大和言葉の和歌を、漢字という視覚言語で見事にイラストしている。

日本は漢字文化圏の一員ですが、漢語を取り入れただけでなく、漢字を使って独特の言語体系を作りました。そういう試みは朝鮮半島でもあったようですが、定着しないで廃れます。ところが日本では、その後、万葉仮名的考え方を五十音の「平仮名」という形に発展させ、平行して、漢文を大和言葉の文法にしたがって読むための工夫（返り点・送り仮名による読み下し）から、「片仮名」を生み出しました。この多彩な表記法が、視覚的な言語表現の素材として現代にまで脈々と受け継がれてきたわけです。すると、どういうことが起こるか。

例えば子どもがはじめて漢字を習います。「山」という字の形に感心しながら「やま」と読むことを覚えます。1対1で対応する普通の言語ではそれで事足りるはずなのですが、ある時点で「富士山」を習う。すると、「え、これ“さん”とも読まなくちゃいけないのか」ということになる。そうこうしていると、「大山」と書いて関東地方ならば「おおやま」、中国地方だったら「だいせん」と読むことを知るんですね。そうすると「おっ、“せん”とも読むのか!」ということになります。そうすると、日本人はどういう風に脳を活用させなくてはならなくなるのか。それは、「山」という漢字は漢字で絵（映像）として覚えておいて、音声言語としての「やま」とか「さん」とか「せん」とかは、また別に覚えておくことになるのです。そして必要に応じて、両者をその都度組み合わせる。さらに別の読みがあるかもしれないから、「山」＝「やま」と一体化して覚えてしまうとまずい。これがとりもなおさず頭の中に変換機能を持つということですね。

このような言語のあり方が日本人の脳を普通の脳とは違うようにした、マンガ的にした、ということをはじめて書いたのは、解剖学者の養老孟司さんです。彼が言うには、脳が損傷して失読症に陥っても、日本人はまるっきり読めなくなるのではなくて、どちらかは読めるんだそうです。仮名は読めないけれど漢字は読めるとか、その逆だったり。要するにそれはさっき言ったように、その両者が脳の別々のところに収めてあるからです。片一方が壊れても、片一方は生き残っていると、そういうことが起こりうるのです。それは1対1で対応していたらあり得ないことです。3対5ぐらいで対応する言葉、日本語だからこそその現象です。「山」のような単純な言葉でさえも複雑怪奇なわけですから、それを子どもの時から操っていかなきゃならない日本人は、あるいは日本語使用者は、頭の使い方が当然変わるはずで、それが、「絵」に「吹き出し」で言葉がついているマンガそっくりだ、というわけです。養老さんは、高橋留美子さんの『うる星やつら』、この題名もすでに駄洒落ですが、その中から、ちびの坊主「錯乱坊」（さくらんぼう）を例に挙げます。

錯乱坊は座っておもむろに言います。「私のことをチェリーと呼んでください」。ギャグですね。さらに、錯乱坊は飛び上がって「喝!」と叫ぶんですが、その吹き出しが「揚豚!」となっていて、ご丁寧に「カーツ!」とフリガナ。養老さんが挙げた例はじつに見事で、「絵」がなくても、漢字とフリガナだけで「絵」と「吹き出し」のマンガになっている。だから話をただで笑ってもらえるわけです。

ところで漢字文化圏の日本以外の主な国はヴェトナムとコリア（韓国・北朝鮮）ですが、そのどちらも日本のようなことはしていません。役所の公文書は日本書紀などと同じように漢文だったし、自前の文字を案出して自民族の言葉を記述するのは結局ずっと後世になってからでした。ですから漢字として読むものはいわゆる「音読み」しかないわけで、文字と読みは1対1で対応しています。「アンニョンハセヨ」のアンニョンは安寧、「カムサハムニダ」のカムサは感謝ですね。

日本語の複雑怪奇さは、日本語を習得しようとする人にとって災難でもあり、同時に惹かれるところでもあるようです。日本語はヘンで面白いから。

どうして日本でだけ、このようなことが起こったのかというと、それは文化の中心地である中国か

らの距離にあったのではないのでしょうか。日本は、陸続きで中国に接していた朝鮮半島やヴェトナムとちがひ、地政学的に海を隔てた島国として絶妙な位置にあったことが独自の文化を育んだのではないか。これは、この講座の初めにお話ししたことと大いに関係があると思います。すなわち、マンガ・アニメ的な文化は、中国や西洋といった文化の“本家”から先生が来ず留学もしなかったけれど文物だけは入ってきていた時代、三度の半鎖国的な時代にピークを迎えた。それは権威から自由で、のびのびやれたからである、ということと似ています。そして奈良時代の昔から今日に至るまで、営々と育んできたこの音声言語と視覚言語が重層する独特の言語体系こそが、マンガ・アニメ的な文化伝統を生み出す基盤になったのではないか、というのが私の仮説なのです。

絵画史などでは、絵を使って物語を語る文化が発達したのは、ほとんどが宗教と密接にかかわり、文字の読めない人々に布教するためだった、と言われていています。例えば西洋の壁画やステンドグラス、インドの浮彫、中国の壁画などです。ところが、日本では、平安時代の天皇や貴族の楽しみのために、字の読めることを前提にして個人的にしか鑑賞できない絵巻物が生まれたのですし、内容も、世俗的なものが中心で、たとえ仏教がらみでも、「奇譚」ともいふべき縁起説話を扱っていたのです。そして一方では、この絵巻という形式が便利だからという理由で、鎌倉時代以後、仏教説話や祖師伝も増えてきますが、もう一方では、識字率の高まりとともに、御伽草子系のマンガ・アニメ的なものも次第に盛んになっていくのです。さらに江戸時代に入ると、浮世絵や絵入りの刊本絵本が隆盛をきわめます。絵と文字による情報の宝庫です。世界的にみて、江戸時代は識字率の高かったことが知られています。

ともかく、日本では文字か絵か、ではなくて、文字も絵も、ですし、音声としての言葉か、絵としての文字か、ではなくて、言葉も文字も、なんです。スマホなんかもそうでしょう。テレビを見てても、人がしゃべっているのに文字もやたら出る。たとえば沖縄のおばあさんの声が聞きとりにくいから下にテロップを出すというのならいいですよ。だけどそうじゃなくて、「心がポキンと」と言ったとたん「ココロがポキン！」なんてのが画面に出る。しかもその字自体がポキンと折れて、コテンと下に落ちたり。漫画ですね。その逆もあります。無声映画というのは、音声がなくても成り立つように作ってあって、必要に応じて字幕が出ます。チャップリンのを見ていればわかりますよね。ところが日本ではそれに活弁というのを付けた。画面を見ながら弁士が状況説明から台詞までやってしまう。絵も言葉も、なんです。

識字率のことを考えた時に思い出したことがあります。私は、何十年も前、一ヶ月近くソ連にいたことがあります。そしてその間に、キリル文字というロシア語の文字が読めるようになりました。意味はわからないけれど。どうやって読むのか。それは簡単なんです。アルファベットと共通する字もあるし、街を歩いていて、手がかりになる表示や看板もあったから。ところが後にですね、アジア・アフリカ文化センターというところで、AA地域の識字率向上のためにアニメーションを作らないかという話があった。まず疑問に思ったのは、アルファベットの表音文字なのに、「どうして識字率が高まらないのだろう？」と。図々しい話をしてはいますが、日本はもともとずっと複雑な言語体系を持っ

ているのに世界的にみて江戸時代から識字率が高かった。もちろん教育の機会の問題があつて、日本でも貧しいがゆえに字が読めなくてつらい暮らしをした人もいます。でもなぜだろう、覚えるべき文字数が限られているのに、と思った。そしてその時思いついたことは何かというと、そういう地域ではみんなしゃべることが好きだということです。会話することが大好きな人たちは会話で全部用が足りると思っている。努力して文字を覚えようという意欲が湧きにくいのではないか。対人関係が大好きでしようがないところは自動販売機なんて絶対に置かないです。しゃべって買ったほうが面白いですから。店に行って視覚的に陳列されていなくても、店の人と話をすると奥から出してくるとか、そういうこともあります。イタリアの町などもそうですね。そういうのと日本人は全然違います。できれば対人関係を避けたい人だらけです。そのうえ、様々に文字と戯れる文化があるし、街も文字看板であふれている。子どもが学校で習うより前に文字に興味をもつてもちっとも不思議ではない土地柄なんですね。識字率の問題はそういうこととも関係があるだろうなと思いました。

日本語をめぐる言語の問題は、語尾など、強調する必要のないところだけが強調できるという音声言語それ自体の特徴のことや、自由に誰が作ってもよく、その実感が大勢の人に共有できたら市民権を得ることができるオノマトペのことなど、まだまだお話すべきことはいっぱいあるのですが、それはさておきます。

すでに前回まで、いろんな絵を見て頂きながら折に触れてお話ししてきましたように、絵巻などマンガ・アニメ的な文化伝統を探っているうちに気づいた大きなことのひとつが、日本では「本質」とか「永遠」を探求するよりも、好奇心によって「現象」を逐一描出し、それを享受するのが好きだという問題です。次の瞬間には変わってしまう表情や動きを生き生きと捉える。画面を小宇宙と考えるのではなく、現実を切り取っただけだから、画面から人物がはみだしても平気。燃えさかる火や流れる水やうねる大波や雨や稲妻など、あらゆる自然現象も線で動きとして描いてしまう。風もはためきやひるがえりで表す。車など動きの速いものは「流線」（動線）とも言う）を付けてそのスピード感を出す。下から見上げたり上から見下ろしたりする描きにくいアングルも、なんとか感じを出して描こうと努力する。こういう難しいものは、リアルな描写力がよほど発達してからしか西洋の画家は手を出しませんでした。日本では病気も餓鬼も妖怪も地獄の有様も、あらゆる「現象」を何でも絵にってしまう。

子どもたちだってすごいです。家の中で遊ぶ、勉強する、表で遊ぶ、喧嘩する、手伝う、大人の行事に参加する、などなど、日本ほど子どもを生き生きと沢山絵に描いた民族はないのではないかと。昔の西洋のように子どもを大人への成長過程の未熟な存在として見たのでは決して見えてこない、見過ごしがちな子どもの存在そのものに、子どもの振るまいそのものに、好奇の目を向け、それを面白がっています。それが愛情深い目かどうかは断定できませんが、少なくともそこに描かれている子どもたちの姿は自由気ままで、生き生きのびのびしているのですから、子どもたちが大人の目を気にしながら萎縮しているなどという社会ではなかったことは確実です。これは、子どもというものの「本質」をどう見るかにかかわってくる重大な問題ですが、そこはとりあえず置いておいて、こんなにも子ど

もたちの日常を多岐にわたって描く、というのは、やはり、それが何のためか、という目的を超えて、あらゆる「現象」を捉えようというあくなき精神の発露だと思ふのです。

このような「本質より現象」に関心があるという傾向は、特別にマンガ・アニメ的な文化伝統に見られるだけではなく、じつは日本の文化全体に言えるのではないか。私はそれを探ってみたくなりました。すると、私のような浅学非才の身でも、さまざまなことが分かってきて、格好の研究課題になりはじめたのです。以下に、まとまりがないまま順不同でそれについてお話しさせていただきます。

まず、「本質より現象」ということを端的に表しているのが日本語の辞書です。項目がやたら多い。西洋語の辞書を見ると、一つの項目にいっぱい意味が書いてあります。例えば「LIFE」。「LIFE」というのは、中国語のほうが西洋語に近く、「生」は「LIFE」です。「生」というのは、いろんなものを含みます。「生活」も「LIFE」、「命」も「LIFE」、「一生」も「LIFE」です。ところが日本語ではそれぞれが別の項目になっている。「生」のさまざまな「現象」を別々に捉えるんです。つまり、一つ一つの表れが違うのだから言葉も変える。しかし、逆に、それらはただの「現象」にすぎず、「LIFE」という命の営みに関しては同じことなのだから、「本質」から言うと一つの言葉でいいと考えるのが西洋流なのです。だから西洋語は「LIFE」で全部済ませることが出来ます。欧米の詩などを翻訳しようとしたとき、この「LIFE」が出てくると困るんですね。多くの場合、「命」なのか「暮らし」なのか、決めることができない。というより、その両方を含意していることが多い、詩ですから。詩で「生」の本質を語ろうとするんです。するとやむをえず訳語に突然「生」が登場してきたりする。それに対し、日本語は「現象」を列挙するのに向いています。なお、「LIFE」に関して日常では最近、「いのちとくらし」という言い方をよく聞くようになりました。

日本人ですごい哲学者が出てこないのは、抽象的な思考や観念的な思考が発達している民族ではないからだ、などということが以前、言われたりしましたが、面白いことに、日本の着物の文様でも、文物を完全に抽象して無機的にデザイン化することはほとんどありませんでした。どこか、元の自然物や道具や自然現象の気分や実感をとどめているのです。個々のモノの実感を捨てきれない。(むろん、縞や緋など、最初からの抽象模様や、中国伝来の青海波や鱗模様は別ですが。)

日本というのは地政学的に中国から絶妙な距離があったので、モノは来ても、本家から先生が来たり留学したりしないで済んだことは言いました。しかも日本列島には吹き溜まりのようにいろんなモノが漂着してきます。中国本土から直接来るかも知れないし、朝鮮半島を渡ってくるかも知れない、あるいは沿海州からも来るかも知れません。何でも来るから、ああ面白い、これも面白い、あれも面白い、ということになりやすい。好奇心旺盛で、享乐的。そういういろんなものをとりあえずらっておくんです。ものを雑多に、並列的に一旦並べておくことに対して、居心地が悪くないとも言えます。本質的なことを追求しようとする、どっちが上か、どれが正しいか、有意義か、というように考えて価値の序列ピラミッドを作ったり、これが真実だと思ひ込むと、他を排斥したくなりますが、我々日本人はそうしなくても全然平気、雑然と同居させてしまう、というようなことが言え

るかも知れません。そして、そうこうしているうちに、いつの間にか自然に淘汰が行われるのを待ちます。あるいは以前からのものとなんとなく融和したり折衷習合したり。成り行きに任せるのです。生まれて神社に初詣、チャペルで結婚式、お寺で葬式、あきれた節操のなさですが、とがめる人はほとんどいません。

それからもうひとつ。やっぱり大きいのは、特に 3.11 の後に思ったのですが、日本が災害列島であることは宿命的な力を持っていただろうということです。日本人でほんとうに“永遠”を信じている人はゼロに近いのではないのでしょうか。ヨハネ伝福音書には、「神は、その独り子をお与えになったほかに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」と書いてあるのですが、永遠の命をもらってもしょうがないんじゃないか？ という感じがします。永遠に生きて何が面白いのか、固定されて不動のものが延々と続くことには耐えられない。日本人の大多数はそう思うのではないのでしょうか。災害列島だから、何かをきっちり取っておかなければいけないとか、これは永遠に残したいとか思っても、あっという間に無くなって、それは満たされないことが多いのです。今「震災を風化させるな」などと言っていますが、私なんかはあまり風化風化と言わないほうがいいと思うんです。「風化するよ」と思っているわけです。風化は当たり前、そうやって日本人はやってきたと思うわけです。要するに、それでもしぶとく生きてきた。そのしぶとさというのが一種の無常観だと思います。無常観なんていう言葉が出てくると、どうしても仏教と思うかもしれませんが、日本の場合、仏教よりずっと古いと思います。しかもインテリではなく、庶民が無常観を持ったと思うんです。要するに、あっという間にかっさらわれて死んだりして、にもかかわらずまた新しい生命を燃やしてやっていくということです。そうすると、何が出てくるかということ、生命の循環なんかに対して非常に敏感になります。一旦死んでもまた生きてきてくれるとか。生命とはそういうものですね。命もめぐり季節もめぐり。そうすると、「循環」を「永遠」の代わりに考えればいいわけです。もちろん、日本語にも「常世」とか「常しえ」という永遠概念がないわけじゃない。でもそれは変化しながら続くことです。いわゆる固定されたものが永遠というのではなく、循環するということ。循環するということは、そこには圧倒的なバラエティがうまれます。例えば自然なんかがそうです。それを愛でるという風潮が出てきます。そして、それが無常観と一緒に仏教の中に入った場合に「一切衆生悉有仏性」という考えになります。涅槃経の中にある言葉ですが、それがいつの間にか比叡山なんかに残って、平安時代に言われていたのが「草木国土悉皆成仏」。「草木」には動物も入っているのでしょうか。「国土」は無機質なものも含めています。それが「成仏」するのだと言っています。そんな馬鹿な、と思うかも知れませんが、等しく成仏しうような存在なんだ、みんな命があって人間と同じなんだ、ということです。ここには価値のピラミッドがない。上下がない。

明恵上人という人がいました。明恵は華嚴宗の人で、「華嚴宗祖師絵伝」の絵巻を作らせた人です。法然より後の 13 世紀の初頭、鎌倉仏教が始まった頃の人ですが、鎌倉仏教とはまるで違うことをやっていた人です。明恵は「草木国土悉皆成仏」という言葉は言っていないのですが、しかしやっていることははっきりそういうことです。明恵のいた高山寺に「鳥獸戯画」もありました。「鳥獸戯画」が何を表しているかということ、人間も動物も同じなんじゃないかということです。「鳥獸戯画」は明恵より

先に描かれてはいますが、それを保存していたわけです。また、すばらしい子犬やつがいの鹿の彫刻を置いています。自分の肖像画も、小鳥たちが飛びリスが枝にいる松林の中で、松の木の股で座禅を組んで瞑想している姿なんです。宮沢賢治みたいに石を集めていたり、自分が愛している島に向かって手紙を書いたりしていました。島ですよ、海に浮かんでいる島。そういう面白い人で、まさに「草木国土悉皆成仏」ということを思っていたにちがいないです。

それから神道と言われているものなんかも本来そうです。御神体が木々の生い茂った山だったり木だったり石だったりいろいろするわけですが、鯛の頭も信心から、ということですね。自分たちに影響を与えるもの、怖いもの、ご利益を与えてくれるものはみんな神様なんですね。敵でもなんでもそれを敬わないと祟りが来るかも知れないからその祟りを恐れて祭り上げて、それによって逆に自分たちの守護神になってもらうということを繰り返しています。有名なのは菅原道真の天神さんですよ。今流行りのパワースポットも、21世紀になってもまだそういう迷信をやっているわけです。いえ、私はそれを迷信だとは思いません。祈る、というのはすべて自然な心の働きだと思います。日本人は昔と何も変わっていないのです。ですから生きている人間も簡単に神様になってしまいます。戦後70年と言っているその戦争で死んだ人は310万人と言われていますが、とにかくみんな神様になってしまいました。それを宗教体系として考えたり利用したりしたら訳がわからなくなります。明治初年に出来た靖国神社、あれは、敵だった西郷さんとか、会津の人たちを祀っていないから、A級戦犯を合祀する以前から、日本の伝統に反する神社なんです。伝統から言えば、犠牲になった民間人も侵略して殺した他国の人々も米兵も、みんな平等に合祀すべきなんです。

話を「草木国土悉皆成仏」に戻しますが、それは繰り返し現れてきます。「みんな違ってみんないい」の世界が特に発達したのは江戸時代です。万物を愛でる。どんどん繊細な感覚が磨かれる。江戸時代は朝顔市など植木屋もとても流行しました。それを浮世絵にも描いています。図鑑も出版されました。花も鳥も虫も大好きで描きました。ついでながら、ファーブルの博物館に来るのはほとんど日本人だと言われています。フランスに行って花が咲いていて「これ何の花ですか？」と聞いても多くの人は名前を知りません。だいたい関心を持ってないですね。花は花なんですね。白い花。それでいい。もちろん知っている人もいますが、例外的だということでは、日本人のほうがよく知っていると言えます。桜ほど代表的ではない花も結構知ってるでしょう。そういうことが起こるといのは、ずっとそういう精神を持ち続けてきたからです。これも「現象」に対する関心です。部分や細部に対する好奇心です。そうやって何でも愛でるといのは、並列的に命というものを認めるということです。そして、それは災害列島によって育まれた無常観から来ているのではないか、というのが僕の説です。（イギリスにはフランスよりもっと具体的なものにこだわって自然を愛でる人が多いようです。）

そういうさまざまなものを享受する能力というのは、もう一度言い直しますが、そうであらねばやっていけないんです。大事にしていたものがあつという間に壊れたりするわけですから、細かいものを愛しているほうがいいですね。すぐ目移りしたっていい。これがだめならこっちにしましょう、と

ということです。「女房と畳は新しいほうがいい」とかも言いますが、日本人は、とにかく新しもの好きです。それは異常なほど新しもの好きでしょう？ それは日本人の根底に、大事に取っておこうと思っても、潰れ、押し流され、焼けてしまう。それをくよくよ惜しむぐらいなら、そんなもの忘れてば一っと新しいものに行ったほうがいい、という心情があるからではないでしょうか。新しもの好きになるのは享樂的無常觀という側面があるのではないかという気がします。

街なんか木造建築で残すには非常に不利です。それこそ災害列島だから不利なんです。不利なんです、しかし災害がなくても平気で壊しますよね。戦後、堅牢なはずのコンクリート建築になってからもスクラップ&ビルドばかりやっていますよね。昔よりむしろもっと激しく壊しています。うちの近くの農家なんか、遺産相続のためとはいえ、惜しげもなく旧家も立派な屋敷林も壊しちゃう。そうするとそこに暮らしている人は震災と同じことをやってるわけでしょう？ 自らやっているんですよ、みなさん、日本では。突然震災の時だけふるさとふるさとと太鼓を叩いている、という風にしか僕には思えなかった。要するに、平素からどんどん壊しているのに、とつい思ったのです。しかも肝心の震災復興でも、ふるさとふるさとと言っているわりに、その二大要素である、景観と共同体の両方をやたら時間をかけて壊していますよね。被災者がほんとうに気の毒ですよ。

震災の後で、みんな残すとか、記憶がどうか言っていました、日本人的じゃないと私なんかは思いました。いや記憶は残したほうがいいし、残さずにはいられないし、残せる人は残せばいいのです。それを風化させちゃならないとか、他人に言う必要はないです。つらくならないためには出来たら忘れられるものは忘れたって構わないんじゃないかというのが僕の考えです。日本みたいなところでは、そのほうが生き生きとがんばってやっていけるんじゃないかと。いや、そんなに単純じゃないですね。私は、莫大な費用をかけて奇跡の一本松の偽物を作ったことは、僭越ながら、はっきり愚行と言いたいです、気仙沼の第十八共徳丸は残してほしかった。あの大地震の記憶遺構として、あれ以上のものはないと思います。残念です。

私は変に保守的なところがあって、新しもの好きというのは嫌いです。西洋などは古い町並みをよく保存していてすごいと思いますし、日本でもそれができないかと思って焦燥感に駆られています。例えばパリに行って、20年くらい経ってもう一度センチメンタルジャーニーのつもりで行ったとしても、ものすごい満足感が得られるんです。なぜなら不動のカテドラルがあって、前に行ったときとほとんど同じような店が並んでいて、同じ店に入ったりすることができるからです。古い写真を見ると、百年以上変わっていないように見えるところだってざらにあります。日本はどうでしょうか。20年も経てば街も店もみんな変わってしまっ、何がなんだかさっぱりわからなくなります。それでもみんな平気です。これもやはり享樂的無常觀のなせるわざなんではないでしょうか。

ところがです。私は絵巻物を調べ、屏風を見、寺社をまわり、仏像を拝観しているうちに、はたと気がついたのです。こういうすばらしい文化財が本当によく残っていることにです。みんな燃えてしまってもちっともおかしくないし、実際、しばしば火災や震災に見舞われているにもかかわらず、です。それについては、祖先の人に本当に敬意を表したいし、感謝したいと思います。火の粉の下を坊さんたちが懸命に運んだり、担いだりして持ち出してくれた、その恩を決して忘れてはならないと思

います。私は、六年生の国語の教科書に、「鳥獣戯画を読む」という一文を書き、その中でこのことに触れたのですが、子どもたちの感想ではそこに一番感動した、というものが多いのです。嬉しいですね。

(平成 27 年 10 月 30 日三鷹ネットワーク大学にて)

この文章は、平成 27 年 10 月 9 日(金)、16 日(金)、23 日(金)、30 日(金)に三鷹ネットワーク大学で行なわれた、アニメーション文化講座「日本伝統文化に見るマンガ・アニメ的なるもの—その独自の発達と日本語—」の第 4 回目の講義内容を中心にして、講師自らが加筆・再構成したものです。



**公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団年報  
2015—2016**

(平成 27 年度 第 15 号)

平成 28 年 7 月発行

編集・発行：公益財団法人徳間記念アニメーション文化財団

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 1-1-83

電話 0422-70-5509

印 刷：望洋印刷株式会社



